Copyright Notice

This document is provided under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License (CC BY-NC-SA 4.0):

https://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/

You are free to:

- Share — copy and redistribute the material in any medium or format
- Adapt — remix, transform, and build upon the material

Under the following terms:

- Attribution — You must give appropriate credit to the publisher, provide a link to the license, and indicate if changes were made. You may do so in any reasonable manner, but not in any way that suggests the licensor endorses you or your use.
- NonCommercial — You may not use the material for commercial purposes.
- ShareAlike — If you remix, transform, or build upon the material, you must distribute your contributions under the same license as the original.

About the Project

This document was created with the permission of participating publishers as part of the Japanese Multi-Volume Sets Discoverability Improvement Project, funded by the Council on East Asian Libraries and the Mellon Foundation for Innovation Grants for East Asian Librarians.

『優生學』解説・総目次・索引

不二出版

第一巻第一号　一九二四(大正一三)年一月二〇日

宣言　悦びの声を揚げて　日本優生学会　1
ユーゼニックスに就て　永井　潜　2
性別価と人同価の真認識　杉森孝次郎　2―3
ユーゼニックスの使命　山本治郎平　3―4
婦人の心得べき法律　中島　玉吉　5―6
女の罪と罰　6
創刊の趣意　編　者　7―8
霊墳録　霊　糞　生　8
生殖性欲と恋愛　野上　俊夫　9―10
社会相一　11
我国民の死亡率に就て　潮　恵之輔　13―14
医学上より見たる受胎調節　古瀬　安俊　14―16
産児制限論の欠陥と人種改良学の立場　春　秋　生　16―17
恐る可き酒と煙草　17
社会相二　18
遺伝講座　20―21
性問題の猖獗　20―21
母乳を飲ませぬと石女を産む　21
ジンパンヂー其他の性生活　綿引　朝光　22―23
性教育の実際と価値　山田　わか　23―24
雌雄両性の発生　河口　栄作　25―26
懸賞論文募集　日本優生学会　26
印度聖典カーマスートラ　26―30
新聞の心聞　30

第一巻第二号　一九二四(大正一三)年二月二〇日

巻頭　日本優生学会　1
人種改良学の第一義　赤松亦太郎　7―8
民族的団結と思想的団結　杉森孝次郎　8―10
結婚を害する疾病の九種　10
酒の上の盗癖　10
霊墳録　霊　糞　生　11
社会相（一）　12
婦人の心得可き法律　中島　玉吉　15―16
誌上裁判

救はれぬ霊と肉／少年少女の犯罪／濱職巡査の公判／意地づくの夫婦裁判／一村を毒滅し行く　香涯生　16―18
適応作用を論ず　18―20
人類学的排日論　20
遺伝講座（二）　22―23
病的な子供の足果して確実なる避妊法ありや？　冬夏生　22―23
恩賜の御沙汰下り減刑の詔書煥発さる　25―26
御慶典記念事業　26―27
生殖性欲と恋愛（二）　野上俊夫　27
社会相（二）　28―29
自由結婚と仲介結婚　鳩山春子　30―31
妻の美貌と葉巻の香　32
母を殺した娘の裁判　木村荘吉　33
印度性典カーマスートラ（二）　33
血迷ふたる政治家心理　34―38
38

第一巻第三号　一九二四（大正一三）年三月二〇日

巻頭　日本優生学会　1
口絵　黎明　5
人種改良学に就て　藤田秀一　7―9
社会相（一）　9―10
メンタルテスト　11―12
遺伝講座（三）　渡辺喜三　15―17
社会相（二）　17―18
ガイ、モーパサンと進行性麻痺狂　19―20
少年達への話（一）　バーナー、マックファデン・著／原田ただ男・訳　22―23
神聖なる寝室　春秋生　22―23
私の展覧会について　小村直　23
婦人の心得可き法律（三）　中島玉吉　25―26
人権擁護の改正刑訴　26
乙女ごゝろ　信子　26
生殖性欲と恋愛（三）　野上俊夫　27―28
乳幼児死亡率の増加と都市の優種消滅　佐藤正　29
劣弱者養護は亡国策　29

医界片々　31—33
霊憤録　霊憤生　34
印度性典カーマスートラ（三）　36—38

第一巻第四号　一九二四（大正一三）年五月一日

巻頭　日本優生学会　1
口絵　純真　付録
人種改良学は社会問題の基調　春秋生　5—7
社会相（一）　8
人種改良学に就て（二）　藤田秀一　9—10
遺伝講座（四）　渡辺喜三　13—15
社会相（二）　15—16
ガイ、モーパサンと進行性麻痺狂（二）　17—18
少年達への話（二）　バーナー、マックファデン・著／原田ただ男・訳　20—21
性教育学者　20—21
誤られたるサンガー夫人　加島斌　23
編者白す　23
果して確実なる避妊法ありや　冬夏学人　24—25
妻の美貌と葉巻の香　木村荘吉　25
人権擁護の改正刑訴（二）　26
医界片々　29—31
印度性典カーマスートラ（四）　32—34
編輯餘瀝　小僧　34

第一巻第五号　一九二四（大正一三）年六月一日

巻頭　日本優生学会　1
口絵　壮美　付録
必要を叫ばれて来た結婚法案　春秋生　5—7
人種改良学に就て（三）　藤田秀一　7—8
人種改良学と其実践　加島斌　9—10
国民の保健と優生学　内務大臣諮問答申案　10
遺伝講座（五）　渡辺喜三　13—15
メンタルテスト！　理学生　16
ガイ、モーパサンと進行性麻痺狂（三）　17—18
少年達への話（三）　バーナー、マックファデン・著／

大酒家論　原田ただ男・訳　20―21
生殖性欲と恋愛　野上俊夫　23―25
新刊紹介　26
医界片々　29―31
関西医師大会の使命　春秋生　29―30
忍滓佐々木氏の気焔　忍滓老　31
印度性典カーマスートラ（五）　32―33
編輯室より　34

第一年第六号　一九二四（大正一三）年七月一日

巻頭　米国を葬れ！　日本優生学会　1
口絵　浴み　付録
生命に関する思想の変遷　永井潜　5―7
メンタルテスト　理学生　8
民族衛生に就て　山田準次郎　9―16
ガイ、モーパサンと進行性麻痺狂（四）　17―18
少年達への話（四）　バーナー、マックファデン・著／原田ただ男・訳　20―21
遺伝講座（六）　渡辺喜三　23―26
新刊紹介　26
医界片々　29―31
人間の代議士論　菅野弘一　29―30
印度性典カーマスートラ（六）　32―34
春秋多夏録　34

第一年第七号　一九二四（大正一三）年八月一日

国民の感激性　1
口絵　歌劇タンホイザーの一場面　付録
人類の遺伝に就て　三宅驥一　5―7
メンタルテスト　理学生　8
如何にしてこの多くの病児を救ふ可き乎　古市春子　9―10
優生学の実践に就て　藤田秀一　13―15
第五号を読んで感あり　三枝直哉　15―16
ガイ、モーパサンと進行性麻痺狂（五）　17―18
少年達への話（五）

バーナー、マックファデン・著／
原田ただ男・訳　20—21
果して惚れ薬か！　ＫＫＫ生　21
遺伝講座（七）　渡辺　喜三　23—25
読者文芸欄　25
新刊紹介　26
医界片々　29—30
医界出鱈めの記　ガンツ・ヌル生　29—30
新薬紹介　31
印度性典カーマスートラ（七）　32—34

第一年第八号　一九二四（大正一三）年九月一日

優生学の国際化　1
口絵　均整美　付録
優生学の実践に就て　藤田　秀一　5—7
米国の排日法案は真因を優生学に出発　7
メンタルテスト　理学生　8
人類の遺伝に就て　三宅　驥一　9—11
遺伝徽毒　古市　春子　13—14
新刊紹介　14
遺伝講座（八）　渡辺　喜三　15—17
ガイ、モーパサンと進行性麻痺狂（六）　18—19
読者文芸　古市　春子　20—21
閑人のねごと　春秋生　21
芸術といふものゝ定義？　宮本　英雄　23—25
婚姻法の将来　佐藤　恒二　26—28
不老延年の説（一）　31
医界片々　32—34
印度性典カーマスートラ（八）

第一年第九号　一九二四（大正一三）年一〇月一日

罪悪に培ふもの　日本優生学会　1
積極的の人種改良　藤田　秀一　5—7
米国の犯罪試験　7
メンタルテスト　理学生　8
人類の遺伝に就て　三宅　驥一　9—10
産児制限論の将来　藤田　徳松　11
遺伝徽毒（二）　古市　春子　13—14

婚姻法の将来（二）　宮本　英雄　15―18
不老延年の説（二）　佐藤　恒二　18―19
排日対策の第一戦は禁酒断行　林　竜太郎　19
少年達への話　バーナー、マックファデン・著／原田ただ男・訳　20―21
読者文芸　21
ヴィタミンBと日本人　湯川　蜻洋　23―25
大阪市非常変災要務規約要覧　26―27
医界片々　28
印度性典カーマスートラ（九）　31―34
八面玲瓏　34

第一年第一〇号　一九二四（大正一三）年一一月一日

粗製濫造者　日本優生学会　1
口絵　蠢惑　付録
人類の遺伝に就て　三宅　驥一　5―7
結核感受性の婦人は受胎能力頗る強く　7
メンタルテスト　理学生　8
婚姻法の将来（三）　宮本　英雄　9―11
痴人夢物語り　冬夏生　13
産児制限と無産階級　山本　宣治　14―15
反射鏡　14―15
不老延年の説（三）　佐藤　恒二　16―17
新らしい出版物　17
読者文芸　18―19
実験恋愛論　烈女　18
研究家としての私の災厄と善後　海野　幸徳　21―22
妊娠及び授乳期に於けるカルシウムの影響　片瀬　淡　22―23
医界片々　24
印度性典カーマスートラ（十）　26―30

第一年第一一号　一九二四（大正一三）年一二月一日

痴人　夢を追う者！　春秋生　(7)
口絵　ダヴエンポート博士　8
精神薄弱の遺伝　ヘンリー・エッチ、ゴッダード・著／

米国よりの吉報　佐野　文五・訳　9―22
人種改良学記録局　原田ただ男・訳　23―28
記録局パンフレットの一　原田ただ男・訳　28
霊憤録　霊　憤　生　30―31
婚姻法の改善　宮本　英雄　33―37
新潮の韻を聴け！　冬夏　学人　37
この統計を何と観る　38―39
是非の喧しい産児制限論　39―40
医界の時事　43―45
児童相談部　子煩悩　古市　春子　46―48
新らしい出版物　49
読者文芸　50―51
編輯だより　52

第一二号　一九二五(大正一四)年一月一日

先天的精神病の遺伝　シー・ビー、ダヴェンポート・著／佐野文五・訳　7―17
競技に現れたる民族的特性　Elmer.D,Mitchell　19―22
人種改良学記録局　原田／佐野・共訳　25―29
霊憤録　霊　憤　生　30―31
悪質遺伝の防止　丘　浅次郎　33―38
人種改造の鐘が鳴る！　38―39
新刊御紹介　40
医界の時事　43―46
救療問題の解決策
児童相談部　43―45
少年達への話　バーナー、マックファデン・著／原田ただ男・訳　46―49
読者文芸　50―51
編輯だより　52

第二年第二号　一九二五(大正一四)年二月一日

ユーゼニクスの歴史的交信の一　R.Goto　6
競技に現れたる民族的特性（二）

Elmer.D,Mitchell・著／佐野文五・訳　7―11
疾病の遺伝的観察　進藤　篤一　13―25
優生劣生雑記　颱風楼主人　26―29
霊糞録　春　秋　生　30―31
医学的に見たる受胎調節の加害作用　古瀬　安俊　33―35
路上の問題　湯川　蜻洋　36―37
人種改造の鐘が鳴る！　38―40
医界片々　43―45
性之教育　少年達への話　バーナー、マックファデン・著／原田ただ男・訳　46―47
悲しき別離の一夜　うどんげの花　47―49
読者文芸　50―51
編輯だより　52

※第二年第三号より『ユーゼニックス』から『優生學』に改題

第二年第三号　一九二五(大正一四)年三月一日

ユーゼニクスの歴史的交信の一　Chas.B,Davenport　6
競技に現れたる民族的特性（三）　Elmer.D,Mitchell・著／佐野文五・訳　7―10
兎唇及口蓋破裂に関する報告表　原田ただ男・訳　10―13
遺伝研究に於ける新四原則　田中　義麿　15―22
反自由結婚論　アドラー　23―25
良き種子は播かれつゝ有り　森田　政雄　25―26
時代は次第に覚醒せん乎　佐藤隆太郎　26―27
国民改善学に就て　渡辺　喜三　27―29
霊糞録　春　秋　生　30―31
産児制限に就て　土肥　衛　33―40
医界時事　43―46
隠れたる犯罪　優　子　46―49
読者文芸　50―51
編輯だより　52

第二年第四号　一九二五(大正一四)年四月一日

日本優生学会の歴史的交信の二　H.H,Laughlin　6
優生学に於ける研究
Chas.B,Davenport・著／佐野文五・訳　7―9
優生学の訳語に就て　春秋生　9
独逸民族衛生協会の声明書を読みて　氏原佐蔵　10―16
臨床医学と優生学　湯川蜻洋　18―20
弱者保護の文化的基礎　矢内原忠雄　20―23
東京盲学校生徒失明原因・視力・眼疾の調査成績　24―27
優生学的研究の機運　28―29
同胞民族の将来を憂ふる者は来れ　30―33
吾国に於ける癩患者とその分布状態　村田正太　35―41
悲しき彼女の告白　古市春子　43―44
雑録　44―47
ノールウェイ結婚法　47
日本最初の実行村　47―49
『反逆の息子』を御紹介　49
読者文芸　50―51
編輯だより　52

第二年第五号　一九二五(大正一四)年五月一日

記録局パンフレッドの一　6
医学者観新マルサス論　渡辺喜三　7―14
競技に現れたる民族的特性（四）
Elmer.D,Mitchell・著／佐野文五・訳　15―16
人類血液の生物化学的係数　志賀潔　17―23
髑髏の殿堂　古市春子　25―27
婦人の貞操と肉体的影響　28―29
関西医師大会来会の諸賢に望む　30―31
疾病の遺伝　舟岡省五　33―43
サニタリウム　颱風楼主人　45―47
大阪の赤ン坊は平均一年四升の酒を飲む　47―48
身長は少し伸びて来たその代り胴は細く平たく　48―49
人間は満員食糧は大欠乏　49―50
ノールウェイの結婚法　50
第十五回関西医師大会　51
読者文芸　52―53

編輯だより　54

第二年第六号　一九二五(大正一四)年六月一日

生存権と産児権　海野　幸徳　7―10
疾病の遺伝（続）　舟岡　省五　11―17
子供の数と質　高田義一郎　18―21
科学智識拾珠　22
優生学初歩　X　Y　Z　23―24
血球の反応と処女の識別　冬夏　学人　25
財団法人日本優生学協会設立参考草案　27―35
偏見者流の癖論　春　秋　生　37―38
優生学から観た排日問題　田中　義麿　39―46
医界片々　47
結婚法案並に結婚紹介法案　国民結婚補導会　48―51
編輯だより　52

第二年第七号　一九二五(大正一四)年七月一日

"Eugenics" in Japanese　6
定欵　6
結婚と日本の将来　春　秋　生　7―13
疾病の遺伝（続）　舟岡　省五　14―18
身長遺伝の調査票　原田ただ男・訳　19―22
社会衛生と児童保護　三田谷　啓　23―27
新聞屋撲滅論　エスペランド法王　28
財団法人日本優生学協会創立発起人氏名　30―31
医師は如何なる場合に流産術を行ふ乎　X　Y　Z　33―41
社会と科学　42
男女両性の決定　梅原　信正　43―49
医界及助産婦人　50―51
編輯だより　52

第二年第八号　一九二五(大正一四)年八月一日

会員募集　6
子供の数と子供の質　海野　幸徳　7―10
遺伝学の概要　見波　定治　11―20
教育者と優生学　春　秋　生　21―27

法人運動の経過報告　29―32
医師は如何なる場合に流産術を行ふ乎（二）　X　Y　Z　33―38
体重遺伝の調査票　原田ただ男・訳　39―41
社会と出版界　42
国際阿片会議の将来は現在の儘で果して徹底的の解決点を見出し得らるるでしようか　木室　兼吉　43―49
医界及助産婦人　50―52
編輯だより　53

第二年第九号　一九二五(大正一四)年九月一日

天賦に参与するの道　6
優生学の本質と界限　海野　幸徳　7―12
産児制限問題挿話　偽為痴老人　13―15
阿片吸食特許指定量を科学的査定法に改むるの有効にして人道上怠諸に附すべからざるを論ず　木室　兼吉　16―25
児童保護事業の勃興　26
酒は蟲の排泄物　松浦有志太郎　27―29
中間報告　法人運動その後の経過　30―32
医師は如何なる場合に流産術を行ふ乎（三）　X　Y　Z　33―40
血清学による親子の真偽判定　桐原　真一　41―43
教育界で見た優生学の問題　森田　政雄　44―49
医界及助産婦人　50―51
編輯だより　52

第二年第一〇号　一九二五(大正一四)年一〇月一日

子々孫々の為の投資　6
優生学に関して我国民に告ぐ　海野　幸徳　7―12
日本人の体格と遺伝　12
カリカック家族における低能の遺伝　浅野　成俊　13―23
衛生学の史的展開に就いて　暉峻　義等　24―28
寄附金募集　28
中間報告　法人運動その後の経過　29―31
会員募集　32

医師は如何なる場合に流産術を行ふ乎（四）　X Y Z　33－41
精神病者発生原因調　42
「氏と育ち」の問題　森田　政雄　43－48
医界及助産婦人　49－52
編輯だより　53

第二年第一一号　一九二五（大正一四）年一一月一日

協会の創立運動　6
会員募集　6
優生学に関して我国民に告ぐ（二）　海野　幸徳　7－11
民法と優生学　11
東宮殿下がメスを御手に生物学の御研究　12
血清学から見た我国とその周囲民族　桐原　真一　13－14
人種優劣の問題　14
受胎調節と和蘭　古瀬　安俊　15－18
遺伝と社会相　19－20
愛国運動としての優生学運動　21－22
優良児の生れ月比較　森田　政雄　23－26
医界及助産婦人　春秋生　27－29
編輯だより　30

第二年第一二号　一九二五（大正一四）年一二月一日

協会その後の経過　6
人生から観たる動物学の価値　C.B.Davenport・著／武田求・訳　7－14
優生学の常識　佐藤　俊三　15－20
受胎調節と和蘭（二）　古瀬　安俊　21－23
結婚と精神病　山本　友香　24－29
医界及助産婦人　春秋生　30
編輯だより　31

第三年第一号　一九二六（大正一五）年二月一日

巻頭之辞　6
異常児の教養とその取扱方の誤り　富士川　游　7－10
更に進む禁酒運動　11

殺伐なりし犯罪の一年間　11―12
産児調節相談所が実地に仕事を始める　12
不良少年は何処から生れる乎　金子　準二　13―14
家庭と不良児　15―16
越智博士の夫婦読本　16
真に来るものゝ何ぞ遅きや　森田　政雄　17―18
カリカック家族の低能遺伝　18
国民結婚補導会の活動　19
受胎調節と和蘭（三）　古瀬　安俊　20―23
産制と優生　23
陰毛剃去の悪流行　24
片眼と跛の遺伝　大浦　孝秋　25
学界の消息　26
医界及助産婦人　春　秋　生　27―29
編輯だより　30

第三年第二号　一九二六（大正一五）年三月一日

巻頭之辞　4
百年後の欧州人と米国民　土肥　慶蔵　5―7
二十五歳禁酒法に対する調査　8
酩酊の三形式　小南又一郎　9―12
兵庫県下の不良児　13
優生談劣生語　原田ただ男　14―15
学童の成績と体格との関係　16
優生学とはどんな学問か　後藤　竜吉　17―19
医師は如何なる場合に流産術を行ふ乎（五）　X　Y　Z　20―24
拝啓　佐藤隆太郎　25―26
似て非なる産児制限　26
医界及助産婦人　27―29
編輯だより　30

第三年第三号　一九二六（大正一五）年四月一日

巻頭之辞　4
比較解剖学上より観たる日欧人　足立文太郎　5―10
禁酒法問題　10
啓上　喜多壮一郎　11
T・M氏に答へて　後　藤　生　11―12

人種は如何にして改善せらるべきか　イー・ジー、コンクリン・述／大島広・抄訳　13―17
産児制限問題　17
邦人の食料改造　白井　紅白　18―19
大朝天声人語　子の曲筆阿世　19
優生語劣生談（二）喘息遺伝の家系調査　原田ただ男　20―22
恐る可き遺伝性の犯罪　今井　孝　23―24
医師は如何なる場合に流産術を行ふ乎（六）　X　Y　Z　25―27
医界最高の新旗幟を提唱す　春　秋　生　28―29
編輯だより　30

第三年第四号　一九二六（大正一五）年五月一日

会員募集　日本優生学会　4
親の因果が子に酬ゆ　高島平三郎　5―8
嗤ふ可き大阪朝日の事大思想　春　秋　生　9―10
米国の禁酒は失敗か　マーク、ショウ・講述／伊藤一隆・通訳　11―14
如何なる結婚を避く可き乎　後　藤　生　15
赤ん坊十二ヶ月　西山哲治／呉羽新五郎　16―17
新刊紹介　18
年齢の病理学的考察　清野　謙次　19―23
少年達への話　バーナー、マックファデン・著／原田ただ男／田島つぎ男・共訳　24―26
医師は如何なる場合に流産術を行ふ乎（七）　X　Y　Z　26―28
国際語エスペランドに就て　米田徳次郎　29―30
編輯だより　31

第三年第五号　一九二六（大正一五）年六月一日

会員並会友　4
遺伝学並に眼遺伝に就て　川上　理一　5―8
学業と体質との相関研究　浅野　成俊　9―12
体育か体悪か　12
在満邦人と日支人との教育比較　中楯　幸吉　13―17
Sexual Wissenchaft　17

劣生漫語　霊憤生　18
労働問題と禁酒　杉浦武雄　19―20
医師は如何なる場合に流産術を行ふ乎（八）　X Y Z　21―23
路傍哲学　23
啓　守田雅夫　24―25
霊憤録　『性と社会』の廃刊　26
医界片々　27―29
編輯だより　30

第三年第六号　一九二六（大正一五）年七月一日

会員並会友（二）　4
遺伝学並に眼遺伝に就て（二）　川上理一　5―8
劣生漫語　生田長江氏の自我流説　劣生子　9―10
酒の害に就て　松浦有志太郎　11―13
児童検査所と児童相談所　14
在満邦人と日支人との発育比較　中楯幸吉　15―17
Sexual Wissenschaft　17
少女達への話（一）　バーナー、マックファデン・著／原田ただ男／田島つぎ男・共訳　18―21
啓　優生学なくして何の体育ぞ　喜多壮一郎　21―23
体悪奨励　23
優生学を歌へる　億川攝三　24―25
遺伝黴毒児の運命　26
医界片々　27―29
編輯だより　30

第三年第七号　一九二六（大正一五）年八月一日

会員並会友（三）　4
遺伝学並に眼の遺伝（三）　川上理一　5―7
劣生漫語　8
大阪朝日新聞　劣生子　8
胎児の男女別に就て　高田義一郎　9―14
Vita Sexualis　都会兵の性欲　14
酒の害に就て（二）　松浦有志太郎　15―18
質疑応答　18―19
在満邦人と日支人との発育比較（三）

彪の創生記（一）　中楯　幸吉　19―21
一卵性双胎の診断法　後藤　生　22―25
医界片々　26
編輯だより　27―29

第三年第八号　一九二六（大正一五）年九月一日

会員並会友（四）　30
遺伝学並に眼の遺伝（四）　川上　理一　5―8
物識りの天声人語子　8
在満邦人と日支人との発育比較（三）　中楯　幸吉　9―11
お医者さんに頼みたいこと二つ　大浦　孝秋　12―13
胎児の男女別に就て（二）　高田義一郎　14―18
妊娠と出産問答　井野辺天籟　19―21
彪の創生記（二）　後藤　生　22―23
親と子の歌　徳山　定吉　24―25
蒲　南方　熊楠　26
健康保険法縦横談　春秋生　27―29
編輯だより　30

第三年第九号　一九二六（大正一五）年一〇月一日

会員並会友（五）　6
遺伝学並に眼の遺伝（五）　川上　理一　7―10
在満邦人と日支人との発育比較（四）　中楯　幸吉　11―14
適齢期　14
優生学の起源　金子　直一　15―19
新たに起る優生運動　池田　林儀　20―21
人口自然増加と耕地拡張見込地　22
医師は如何なる場合に流産術を行ふ乎　X　Y　Z　23―25
体育か体悪か　25
啓　喜多壮一郎　26
彪の創生記（三）　後藤　生　27―29
陰茎ステッキの製法　30
医政倶楽部　春秋生　31―33
編輯だより　34

第三年第一〇号　一九二六(大正一五)年一一月一日

会員並会友（一八）　6
遺伝学並に眼の遺伝（一八）　川上　理一　7―9
世界の呼吸　春秋生　10
在満邦人と日支人との発育比較（五）　中楯　幸吉　11―14
訳語『優生学』礼讃　春秋生　14
民族衛生に就て　フェッチェル・述／荘司秋次郎・訳　15―18
父性に直面して　小川喜代志　19―24
『霊肉の闘ひ』を推奨　後藤生　24
医師は如何なる場合に流産術を行ふ乎　X　Y　Z　25―26
彪の創生記（四）　後藤生　26―28
現代川柳集（一）　29
『優生柳壇』の新設　道広　御泉　29
善悪両面行　30
杏林倶楽部　31―33
編輯だより　34

第三年第一一号　一九二六(大正一五)年一二月一日

会員並会友（七）　6
遺伝学と統計学との関係　川上　理一　7―9
きらはれ出した新聞屋雑誌屋　春秋生　10
受胎の周期性と云ふ事　鳴海　康仲　11―18
二十五歳禁酒法提出理由　18
医師は如何なる場合に流産術を行ふ乎　X　Y　Z　19―21
道徳書欺偽常習者　21
日支学童の体質調査　中楯　幸吉　22―24
彪の創生記（五）　後藤生　25―27
秋より冬へ　徳山　定吉　28―29
劣生運動　30
杏林倶楽部　31―33
編輯だより　34

第四年第一号　一九二七(昭和二)年一月一日

日支学童の形態と体質との関係比較　中楯　幸吉　5―7
霊憤録　不所存者の不謹しん　8
平均価と百分率の計算法　川上　理一　9―12
煙草之害　12
産児制限はサタンの思想　杉田　直樹　13―18
産児制限後後日譚　18
米国の禁酒法問題（一）　外務省情報局　19―23
医師は如何なる場合に流産術を行ふ乎　X　Y　Z　25―28
戦後の欧州の教育に就て　野上　俊夫　29―32
ペスタロッチ紀念祭　32
彪の創生記（六）　後藤　生　33―35
質疑応答　35
劣生運動　36
現代川柳集（二）　37
脱線漫語録　38
医界片々　39―43
詐病に就て　小南又一郎　39―42
編輯たより　44

第四年第二号　一九二七(昭和二)年二月一日

日支学童の疾病調査　中楯　幸吉　5―7
児童愛護　8
米国の禁酒法問題（二）　外務省情報局　9―12
三田谷治療教育院　三田谷　啓　13―15
遺伝と質素　15
平均価と百分率の計算法（二）　川上　理一　16―18
戦後の欧州の教育に就て（二）　野上　俊夫　19―21
浅春の旅　徳山　定吉　22―23
劣生漫語録（二）　24
民族医政　春秋　生　25―27
編輯だより　28

第四年第三号（三月特輯　酒害研究号）

一九二七（昭和二）年三月一日

巻頭語　記者　5
酒の様々な種類　記者　6―8
酒の本態とその性能　藤原九十郎　9―12
下部に酒飲まする事は心すべき事なり　吉田兼好法師　13―14
ジヤクソンの定理とメルシアの中毒説　諸岡存　13―16
天才に潜在せるアルコール中毒　ロンブロゾー　14―15
古今禁酒大観　福沢諭吉　16―17
酩酊者の三形式　記者　16―17
禁酒古史略　石田玄圃　18
動物に酒を飲ませると結局は強くなるらしい　石川千代松　19―20
共啖ひ　19―24
酒魔礼讃　大竹憲太郎　20―22
酒害研究号に対して　T H生　22―23
酒と私　大浦孝秋　23―24
米国の禁酒法問題（三）　外務省情報局　25―28
酒害圏　佐藤俊三　29―35
酒と親子の問題　古畑種基　36―37
酒の徳　太田顕　37―40
両極端　堕落するのを悲しまぬ女　サーベル生　36―38
酒位は！　モダンガール　38―40
ラディオ　41―46
国民の自覚を祈る　片山国嘉　41―42
禁酒を実行する四方法　山室軍平　42―44
日本酒と国家経済　下村海南　45
断酒十年　金子直一　46―48
寸鉄集　46―47
俚諺集　47
酒の古川柳　48
酒造業者の意見　大島文治郎／義本一／平沢与之介／富安合名会社　49―52
酒茶問答　劣生坊　49―52

酒害調査票　(53)―(56)
編輯だより　57

第四年第四号　一九二七(昭和二)年四月一日

巻頭語　5
昔の優生学的思想　春秋生　6―8
平均価と百分率の計算法(三)　川上理一　9―11
煙草中毒　記者　12
虚弱体質　吉田章信　12
売淫と売春婦
亡国病の一掃運動　日本黴毒学会　13―17
母親の精神鑑査　酔遠歌客生　13―18
人口食糧問題　余田忠吾　18
霊憤録　下村海南　19―23
　移民か棄民か　中村冬夏　19―21
　婦人運動の愚！　喜多村かず子　22―23
劣生漫語録　劣生子　24
日支学童の疾病調査　中楯幸吉　25―28
質疑応答　記者　29―31
科学的家系表　後藤生　29―31
異聞珍談　記者　31
時事二則　31
子供の楽園　霊憤生　32
酒狂者の放火、暴行、傷害罪　土屋栄吉　33―37
優生歌壇　38―39
会友並会友録　40―41
編輯だより　42

第四年第五号　一九二七(昭和二)年五月一日

巻頭　5
歳寒居随筆(一)　福原義柄　6―10
優生学上より見たる乳児保護　三野裕　11―12
寿命年齢調べ　12
長寿者番附　12
関係法規集　13―18
米国の禁酒法問題(四)　外務省情報局　13―18
之れから何年生きる乎　18
血族結婚と皮膚疾患　傍島亘　19―25

霊憤録
ブラジルへ！／学芸の国際協力／緒方洪庵と足守／社会医学雑誌／がおかしき！　春秋生　19―25
劣生漫語録　春秋生　26
或る殺人未遂の法医学的鑑定　土屋栄吉　27―31
優生歌壇　32―33
時事数則　32―33
編輯後記　34

第四年第六号　一九二七（昭和二）年六月一日

氏と育ち　5
プラトーの理想的国家　後藤生　6―10
黴毒の起源　土肥慶蔵　11―12
同種動物の調和性　林佐市　12
飲酒可否論　13―21
酒害調査票の成績（第一回報告）　13―21
時事数感　22
産児調節論批判　暉峻義等　23―27
科学篇
ホルモンによる実際的不妊症　23―24
犬の堕胎術　24―25
産児調節運動と医師の責任　エイ・ブゼー　25―26
英国の産児調節運動　27
病的酩酊者の発作　土屋栄吉　28―29
美と健康　春秋生　30―31
時事寸報　30―31
編輯後記　後藤生　32

第四年第七号（七月特輯　遺伝と犯罪）

一九二七（昭和二）年七月一日

遺伝と犯罪　5
犯罪の種々相　後藤生　6―11
遺伝犯罪学の始祖　ロンブロオゾオ　12
遺伝と犯罪
O・Sテスト／カリカック家族の低能遺伝／犯罪家族のジュークの血統／祝福されたエドワード家／智的罪質／乞食と泥棒　13―26
遺伝表示説　小関光尚　13―16

遺伝と環境と教養　島村　保穂　17―24
大阪乳幼児保護協会々則　25―26
優生の幻象　佐藤　俊三　27―29
犯罪素質　30
犯罪性は根絶せしめ得可き乎　古畑　種基　31―32
科学片々　31―38
文芸に現れたる犯罪に就いて　畑山　茂　32―36
遊女の妊孕　上村　行彰　37―38
獣医畜産記者としての随感　白井　紅白　39―40
自分で自分の祖父になつた話　草谷　千文　40
時事数則　後藤　生　41―43
犯罪手口　41―42
一厘事件　43
古川柳『罪と罰』　43
編輯後記　44

第四年第八号（性格異常）一九二七（昭和二）年八月一日

性格異常　5
精神病と性格異常　後藤　生　6―9
優生学の理想　10
精神病者と其家族　山本　友香　11―50
霊憤録
一萬トン級／御批准書／勅諭の偽読／押しの強さ／芥川の死　11―19
学俗篇
万国人類学会／国際人口会議／各国の人口動態／人口食糧問題／板野博士帰朝　20―34
結婚問題
血族結婚の可否／支那の結婚／露国の結婚制度　35―44
相性と土性　小杉　イネ　45―48
未来記の一節　アナトール　49―50
会友録（二）　51
編輯後記　52

第四年第九号（結婚と遺伝）一九二七（昭和二）年九月一日

結婚と遺伝　5
民法に於ける婚姻　後藤　生　6―10

近親婚と雑婚　駒井　卓　11―18
統計集
幸？　不幸？　プロツホ　11―14
鳥類の一夫一婦　冬夏　学人　14―15
生れた時の父の年齢　レッドフィールド　16―18
結婚と常識　三宅　驥一　19―21
霊憤録
恋愛の選択　エレン、ケイー　19―20
無夫姦通罪　21―22
妻というふものこそ男の持つまじき物なれ　吉田　兼好　22―24
夫婦の性生活　松野　緑生　22―24
美と健康　25
時事数則　25―27
夏の日の歌　徳山　暁風　26―27
編輯後記　28

第四年第一〇号（古今の優生）一九二七（昭和二）年一〇月一日

古今の優生　5
昔の優生学的思想　後藤　生　6―11
南瓜の蔓に西瓜が生る　記者　12
美人を生む法　12
古今の優生　12
偉い人には長寿者が多い／日本の偉人系／現代の名流／美人礼讃　13―27
ゴールトン以後の優生学　金子　直一　13―27
身長の遺伝　冬夏　学人　29―32
人種改良の鐘が鳴る　29―32
天才か狂人か　チエザレー、ロンブロゾオ　29―32
不思議な勇気　32
霊憤録　乃木家と東郷家　記者　33―35
人口食糧問題の応急策原案　33―34
雑録　34―35
編輯後記　36

第四年第一一号（美と健康号）一九二七（昭和二）年一一月一日

美と健康　(1)
人間美の進化論　後藤　生　2―6

婦人の特性　冬夏　学人　7―8
女子の体育　冬夏　学人　8
美と健康
女性の奴隷美　岡　啓二　9―14
髪と膚の色　北川　文雄　15―17
米国に於ける延命協会
人体美の典型　9―17
地獄篇
大男と小男　切　抜　帳　19―22
美と戦闘　村田　敏生　22―23
雑記帳より　24
良き子宝を得る法　越　路　生　25―29
結核牛は公衆衛生上に害ありや　白井　紅白　30―31
総領の甚六？　ゴールトン　30―31
川柳美人　31
古川柳　31
編輯だより　32

時の変遷　(1)
一氏族国家としての日本　古谷　栄一　2―8
結婚者には医師の健康証明書を強制せよ　霊　憤　生　9―17
髪と膚の色　北川　文雄　9―12
結婚の時期と年齢　春　秋　生　12―15
一ヶ年間の郵便事故　15―16
十七人目の妻　16―17
種の起源新説　ヴェステンホーフェル　19―21
美と健康
唇の力　小林　宗斎　19―20
祖犬の遺風　高橋　虎雄　20―23
レモンで若返り法　23
猿公と同じ骨格　早野　常雄　21―22
カンバネラの『太陽市』　22―23
劣生漫語　劣　生　坊　24
恐ろしい血友病　冬夏　学人　25―28
優生日本の鐘が鳴る　記　者　29―31
ダーウキンの旧邸を聖地として保存　29
恋人同士の散歩が食物を早く消化

第四年第一二号　一九二七(昭和二)年一二月一日

マツクドウエル　29
ヂキタリスの新力価検定法とヴイタミン　30
乳幼児保護週間　30
無産者病協会　31
民族衛生策　31
編輯後記　32

第五年第一号（第五週年紀念産児制限批判号）

一九二八（昭和三）年一月一日

俗論は打破す可し！　石川千代松　2―5
自然淘汰と産児制限　(1)
サンガー夫人との応酬　田中　義麿　5―7
雑記帳より　8
維新前の人口問題　本庄栄次郎　9―21
産児制限論に対する史的綜合的考察　後藤　生　9―22
産児制限の参考文献類　不参考生　21―22
産児制限は不道徳ではない　安部　磯雄　23―24
戦争防止、失業防止　賀川　豊彦　25―26
社会問題は経済問題　河上　肇　27―28
我等の主張　山本　宣治　29―30
堕胎の罪　30
抄録『反逆の息子』より　永井　潜　33―36
食糧問題統計集　30
耕地面積の増加　33―34
作物生産の増加　34
耕地拡張見込地　34―41
国際聯盟に報告されたる日本の食糧問題　イー・シー、グレー　41―44
統計集　人口漸減の兆あり　後藤　生　36―44
共啖ひ　45―46
人口増加率逓減の事実　金子　直一　47―51
お乳が四つ!!　多賀秋之介　51―52
産児制限の理論と実際　後藤　生　53―61
鐘が鳴る優生日本の鐘が鳴る　63―65
時事数則　記者　63―65
年頭謝辞　後藤　竜吉　66―67
編輯後記　68

第五年第二号（二月特輯始祖礼讃号）

一九二八（昭和三）年二月一日

始祖礼讃 (1)
サー・フランシス・ゴールトン 2
優生学始祖 後藤生 3—8
二三の事ども 駒井卓 8
結婚証明書 レオナルド、ダーウヰン 9—11
米国に於ける結婚禁止法及生殖不能手術の現況 X Y Z 9—16
産児制限批判 高田義一郎 11—12
石川千代松先生より
無駄に終つた八年の感化力
アルコール性飲料の消費量と犯罪
酒の嫌ひになる薬？
Kultur の国
乳製品の簡易な鑑別法
一氏族国家としての日本（二）
地力篇
逆淘汰一千万！ 三宅驥一 23—25
堕胎の歴史 バレンニンブランケ 25—26
血液の遺伝新説 大庭 26—28
児童の個性を尊重せよと 28—29
昨年の万国禁煙会議 29—30
基本調査の必要 30
粗食賛美の害 白井紅白 31—32
北川文雄先生の『髪と膚の色』 小杉イ子 32—33
思ひ出づるまゝに 毀誉褒貶生 33—34
苦辛の結晶？ 凡次郎 34
本能と科学と理想 後藤生 35—41
北極と南極 41
劣生漫語録 劣生坊 42
質疑応答 双生子と結婚 K生 43—46
雑報 記者 43—46
会友録 47
編輯後記 48

第五年第三号（三月特輯民族衛生研究号）
一九二八（昭和三）年三月一日

民族衛生研究号　(1)
各国の優生学運動　後藤生　2―5
雑記帳　6
米国に於ける結婚禁止法及生殖不能手術の現況（二）　X Y Z　7―11
身長と体重と寿命との関係　ハーン　7―9
英国の結婚　年齢改正運動　9―11
都市は内縁と私通の巣窟　11―12
ノールウェイの結婚法　12
精神異常児の養護　丸井清泰　13―15
結婚と同胞日本民族　春秋生　16―18
ニコチンの含有量　18
一氏族国家としての日本（三）　古谷栄一　19―25
地力篇　性氏原流総覧（一）　19―21
育児篇
乳呑児の下痢は母乳の飲せ過／離乳期の献立／偏食は大失敗　記者　22―25
学芸趣味欄
副乳頭と多産性？　白井紅白　27―28
美眼術　桑原生　28―29
通俗遺伝調査　冬夏学人　30―32
絶食療法　凡児郎生　32
民族衛生施設に関する一考察　後藤生　33―40
劣生漫語　劣生坊　41―43
雑報　41―43
編輯後記　44

第五年第四号　一九二八（昭和三）年四月一日

優生学の時代　(1)
各国の優生学運動（その二）　後藤生　2―6
生物学上及心理学上に所謂条件反射の意義並にその応用　浅田一　7―17
レーニンの脳髄／世界各国の結婚費調べ／恐ろしい子供の飲酒　18
米国に於ける結婚禁止法及生殖不能手術の現況

（三）　X Y Z　19―23
育児篇
母乳と代用品／酒飲の子孫
学芸趣味欄
通俗遺伝の調査（二）　冬夏生　25―27
塩を食べると骨が太くなり砂糖を食べると細る　片瀬淡水　27―28
一代雑種多産の理由　飯島真　28―30
精神病の血統　後藤生　31―36
優生漫語　劣生坊　37―39
雑報　37―39
編輯後記　40

第五年第五号　一九二八（昭和三）年五月一日

所謂社会運動家　(1)
結婚制限法案の反対者　春秋生　2―6
米国に於ける結婚禁止法及生殖不能手術の現況（四）　X Y Z　7―10
堕胎法律観　明石九一　10―15
男女両性間の快感曲線／女子生殖器ホルモンの効価　16
一氏族国家としての日本（四）　古谷栄一　17―21
姓氏原流総覧（二）　17―21
衣食か住宅か？　21
学芸趣味欄
通俗遺伝の考査（三）　冬夏生　23―24
日本人の身体発育　吉田章信　25―27
国賊的粉乳広告に眩惑されて第二の国民を毒殺さるゝ勿れ　霊糞生　27―30
バート氏犯罪児童　月田　30
性格の分類（一）　鈴木直光　31―36
劣生漫語　劣生坊　37―39
雑報　37―39
編輯後記　40

第五年第六号　一九二八（昭和三）年六月一日

支那の兵隊　(1)
民族衛生　福田令寿　2―5

優生学の反対論　春秋生　5―6
米国に於ける優良児出産の低下　中西良一・訳　7―8
県立鹿児島病院小児科に於て最近一年問診療せる先天性発育不良児の統計的観察、特に血族結婚に就て　鈴木靖　8―10
民族衛生施設に関する答申　大阪府医師会　11―13
開かれた民族衛生展　14
人体より見たる国体（一）　浅田一　15―21
姓氏原流総覧（三）　古谷栄一　15―21
学芸趣味欄
通俗遺伝の考査（四）　岩崎重三　23―25
母乳代用品　霊憤生　25―28
民族衛生展覧会を見る　伊藤六慶　28―30
性格の分類に就て（二）　鈴木直光　31―36
劣生漫語　劣生坊　37―39
雑報　記者　37―39
洪庵先生紀念碑　40

第五年第七号　一九二八（昭和三）年七月一日

最後の疑問　(1)
優生学の理論と実際並にその応用実行方法　春秋生　2―7
味い物に何故涎を流すか／昨年の増加八十五万に減少／女はなぜ色が白いか　8
民族衛生施設に関する答申　京都府医師会　9―13
妊娠と歯牙との関係　黒田鶴治　14―16
人体より見たる国体（二）　浅田一　17―22
性氏原流総覧（四）　古谷栄一　17―22
学芸趣味欄
天才か気狂か　冬夏学人　23―26
所謂成績不良児の身体的特徴並臨床的所見　尾崎清次　26―28
育児シクジリ十回　昭和モガ女　28―30
堕胎と法律　30
性格の分類に就て（三）　鈴木直光　31―37
劣生漫語　劣生坊　38―39
雑報　38―39
編輯後記　40

第五年第八号　一九二八(昭和三)年八月一日

過去と未来　春秋生　2―5
優生学の現実的価値　(1)
血友病の療法？／精神労働と新陳代謝／世界一の重体量家族／酒の嫌ひになる薬／南瓜の蔓に西瓜　6
遺伝と発育関係　田中政太　7―9
適性教育の急務　冬夏学人　10―14
産児制限運動の帰趨　古往今来生　15―20
性氏原流総覧（五）　古谷栄一　15―20
学芸趣味欄
人類の争闘　独嘯馬　21―23
夢の心理学的精神病学的研究　吉益脩夫　23―25
妊娠より育児への一般的標準　内務省社会局　25―27
水の誘惑　記者　27―28
生物界の性生活　後藤生　29―34
劣生漫語　劣生坊　35―39
雑報　35―39
会友録　39
編輯後記　40

第五年第九号　一九二八(昭和三)年九月一日

黄金狂時代　(1)
優生学と優境学　春秋生　2―6
中年婦人の健康体　6
偉人や天才の出現　岩崎重三　7―10
妊娠調節上の注意　冬夏学人　11―14
遺伝と細胞（一）　進藤篤一　15―20
姓氏原流総覧（六）　古谷栄一　15―20
婦人の受胎し得る日は毎月僅に八日間　記者　21―22
常習犯罪人の人相　XYZ　23―26
全人類中で尻から二番目　27―28
六大都市の妊産婦死亡率　28
体質の分類と体質の定義　渡辺喜三　29―34
劣生漫語　劣生坊　35―38
雑報　35―39
会友録　38―39

編輯後記　40

第五年第一〇号　一九二八(昭和三)年一〇月一日

変態の心理生理　(1)
貧乏と優生学　春秋生　2―6
原因？結果？　山本北山　7―9
飲酒と犯罪　10―12
育児健康診断法　冬夏学人　13―14
遺伝と細胞（二）　進藤篤一　15―22
姓氏原流総覧（完）　古谷栄一　15―22
所謂「性的薬物」に就て　森崎長次郎　23―26
結婚禁止と花柳病　杉田直樹　26―28
体質と疾病　稲田竜吉　29―33
一情一景　徳山暁風　34
劣生漫語　劣生坊　35―38
雑報　35―39
会友録　38―39
編輯後記　40

第五年第一一号　一九二八(昭和三)年一一月一日

生きる楽しみ　(1)
優生学と社会問題　春秋生　2―6
皇室の御慶事と禁酒の問題に就いて　二荒芳徳　7―9
血液型と親子の鑑別　三田定則　9―14
救貧法案漸く成る　内務省社会局　15―22
人口食糧問題　内務省社会局　15―22
所謂性欲衛生　ケイ、シームリス　23―24
体育と思想問題　北豊吉　24―28
遺伝と細胞（三）　進藤篤一　29―33
世界一？／婦人の勃起／精虫の若返り法　34
劣生漫語　劣生坊　35―39
雑報　35―39
会友録　39
編輯後記　40

第五年第一二号　一九二八(昭和三)年一二月一日

逝くものをして行かしめよ！　(1)
遺伝の優生学的応用　春秋生　2―6
日本人体質の研究　松村瞭　7―9
第三代に及ぶ黴毒　シー・ビー、ボンヅラント／ＭＥ生・訳　9―12
精神病学的に観たる悪人の特質　三宅鉱一　13―14
遺伝と細胞（四）　進藤篤一　15―20
江戸の大奥　破邪坊　15―20
結婚と性欲　ＸＹＺ　21―23
乳幼児の死亡率と其代用食餌に就て　稲垣乙丙　23―26
トルストイの性欲観　冬夏学人　27―28
体質と疾病（二）　稲田竜吉　29―33
天才と変質者　33
日本帝国人口動態統計の概要　34
劣生漫語　劣生坊　35―39
雑報　35―39

その後の会友　39
編輯後記　40

第六年第一号　一九二九(昭和四)年一月一日

巻頭　(1)
結婚と遺伝　越智真逸　2―8
日本人の体質　足立文太郎　9―14
遺伝と細胞（五）　進藤篤一　15―20
動物界の母性愛　15―20
チエッコスローバキアの愛国ソコール運動　サラトナイ　21―24
犯罪と精神病　新名常造　24―28
倫敦の居酒屋　浅水生　28―30
体質と疾病（三）　稲田竜吉　31―35
人生詩　涸泉集（1）　道広御泉　36
劣生漫語　劣生坊　37
金剛種の出現　平島新十郎　37―42
雑報　37―42
会友録　43

普通人に比べて重い天才の脳　編輯後記　43　44

第六年第二号　一九二九(昭和四)年二月一日

尺蠖の弁　(1)
子福者の子宝　柏原　長弘　2―6
犯罪少年の環境と教育　多田　常太　7―10
狙上の片鱗（一）いとこ夫婦　滴々生　10―12
犯罪と精神病（完）　新名　常造　13―18
諸動物の母性愛（二）　13―18
人血液型の遺伝に就て　古畑　種基　19―21
日本学童の身体的向上　白百合愛雄　21―24
結婚相談所と医学的検査　フオン、ドリガルスキイ　24―25
妊娠と甲状腺腫　26
遺伝と細胞（六）　進藤　篤一　27―31
人生詩　涸泉集（2）　道広　御泉　32
劣生漫語　劣生坊　33―39
雑纂　33―39

編輯後記　40

第六年第三号　一九二九(昭和四)年三月一日

真の健康　(1)
悩み多き天才の道　春秋生　2―5
女は消化器病／上級へ進めぬ優良児／畸型の原因　6
血液型の知識　浅田　一　7―10
享楽観念の本態（一）　植松七九郎　10―12
各国青年の条件付結婚法案　12
『メンデル』の遺伝応用　冬夏学人　13―18
女性の犯罪　杉田　直樹　13―18
良い子供はどうして生れるか　永井　潜　19―20
血圧の常識　編輯局　20―21
妊娠より分娩迄　河合　峻策　22―26
昭和四年結核予防週間に対する施設予定事項　26
遺伝と細胞（七）　進藤　篤一　27―31
人生詩　涸泉集（3）　道広　御泉　32
劣生漫語　劣生坊　33―38

雑報　33－39
会友録　38－39
編輯後記　40

第六年第四号　一九二九(昭和四)年四月一日

白首四五寸　(1)
結婚問題考究　春秋生　2－5
現在日本の長寿者　5－6
指紋研究の新方面　浅田　一　7－10
レコード破りの脳髄　10
享楽観念の本態（二）　植松七九郎　11－12
職工選択標準問題　13－18
人身供養
科学的性教育の方法　ウオルター、ガリカン　19－22
健康増進と保健食　黒旋風生　22－23
藁ブラシ健康法　長谷川卯三郎　23－25
漱石は狂人か　25－26
遺伝と細胞（八）　進藤　篤一　27－31
人生詩　涸泉集（4）　道広　御泉　32
劣生漫語　劣生坊　33－36
雑報　33－39
会友録　36－37
春はうごく　徳山　暁風　38－39
編輯後記　40

第六年第五号　一九二九(昭和四)年五月一日

消極と積極　(1)
結婚問題考究（二）　春秋生　2－5
X線で性の左右／学童の献立　6
運動の種類は体質に応じて選べ　後藤生　7－8
卵巣ホルモンと交尾期循環　森　茂樹　9－12
質疑応答　斯様な病的遺伝は！　西〇弥〇郎・質問／山本友香・解答　13－18
笑の哲学　松翁　13－18
科学的性教育の方法（二）　ウオルター、ガリカン　19－22
糖尿病の断食療法　大浦　孝秋　22－23
国民の生命表　調査毎に死亡高率　内閣統計局　24－25

大阪府知事の祝辞　力石雄一郎　26
聖上陛下　26
遺伝と細胞（九）　進藤篤一　27―31
人生詩　涸泉集（5）　道広御泉　32
劣生漫語　劣生坊　33―37
雑報　33―38
会友録　37―39
第十回日本国民禁酒同盟大会　39
編輯後記　40

第六年第六号　一九二九（昭和四）年六月一日

悪政時代　(1)
結婚問題考究（三）　春秋生　2―5
左きゝは遺伝　三宅驥一　6
遺伝学的指紋に就て　吉田寛一／藤田潔　7―10
仏教と性欲　井上秀夫　10―12
断種術後の性的生活（上）　田結宗誠　13―18
夏と子供　内務省衛生局　13―18
生理学上から観た体育運動と体力　東竜太郎　19―20
優良児の標準　体格と栄養と精神力と　後藤生　20―21
墓が人間の運命を左右する？　大浦孝秋　22―24
放火と性欲　林鉄夫　25―26
教育病理学（一）　三宅鉱一　27―31
人生詩　涸泉集（6）　道広御泉　32
劣生漫語　劣生坊　33―39
雑報　33―39
質疑応答　39
編輯後記　40

第六年第七号　一九二九（昭和四）年七月一日

末世　(1)
結婚問題考究（四）　春秋生　2―6
近親結婚受難の実例　傍島亘　7―9
人種の特殊性と云ふ事　志賀潔　10―12
断種術後の性的生活（下）　田結宗誠　13―17
夏と子供　内務省衛生局　13―18
ペッサリウム　種類と使用法

再び墓と運命に就て　大浦　孝秋　19―21
放火と性欲　林　鉄夫　21―23
大浦孝秋氏の『糖尿病の断食療法』に就て　小杉イネ子　23―24
教育病理学（二）　三宅　鉱一　25―29
人生詩　涸泉集（7）　道広　御泉　30
劣生漫語　劣　生　坊　31―33
雑報　31―35
会友録　33―35
避妊の処置は犯罪と成るや　35
編輯後記　36

第六年第八号　一九二九(昭和四)年八月一日

懐疑　(1)
結婚問題考究（五）　春　秋　生　2―5
近視の新学説／人間一生の食費は一万円／変態性機　6
日本に人類が住居してから日本人が現るゝ迄　清野　謙次　7―9
脈搏で体質を知る方法　長谷川卯三郎　10―12
人の涙液に就て　吉田　寛一　13―18
夏と子供　内務省衛生局　13―18
続墓相と運命に就て　大浦　孝秋　19―21
花の進化の話　黒田　松雄　21―23
驚く可き露国の堕胎　23―24
教育病理学（三）　三宅　鉱一　25―29
人生詩　涸泉集（8）　道広　御泉　30
劣生漫語　劣　生　坊　31―34
雑報　31―35
会友録　35
編輯後記　36

第六年第九号　一九二九(昭和四)年九月一日

社会事業　(1)
性愛の科学（一）　後藤　竜吉　2―5
ゴム製心臓猫を踊らす／酔倒は病院へ／女が男に　6
血液型による気質　古川　竹二　7―9

人の唾液に就て　吉田　寛一　9－12
アメリカに於ける意志薄弱者に対する優生学的断種術　田結　宗誠　13－18
花の進化（二）　黒田　松雄　13－18
親子の区別も性の別も脂肪に依つて判る　小山　亮清　19－20
性剤の影響に就て（一）　ホリツク・著／KS・訳　20－24
教育病理学（四）　三宅　鉱一　25－28
コレラ漫談　劣生坊　29－35
雑報　29－34
会友録　35
大震災の統計　35
編輯後記　36

第六年第一〇号　一九二九(昭和四)年一〇月一日

無自覚病　(1)
性愛の科学（二）　後藤　竜吉　2－5
生命不減の妙法研究！／高等医学／出生率減少　死亡率増加　6
体格と性格の医学に及ぼす影響　亘　繁　7－8
人の精液に就て　吉田　寛一　9－12
アルコールと児童問題（一）　フンベルト・著／片山里一・訳　13－18
面の話　藤堂　献三　13－18
青少年犯人の研究（一）　吉益　脩夫　19－21
性剤の影響に就て（二）　ホリツク・著／US生・訳　22－24
教育病理学（五）　三宅　鉱一　25－29
人生詩　涸泉集（9）　道広　御泉　30
劣生漫語　劣生坊　31－35
雑報　31－35
編輯記　36

第六年第一一号　一九二九(昭和四)年一一月一日

情義廃頽　(1)
性愛の科学（三）　後藤　竜吉　2－5
産児制限論から見た英米の歩度　6

英国優生学協会の滅種法案草案　内務省衛生局　7―8
青少年犯人の研究（二）　吉益　脩夫　9―12
アルコールと児童問題（二）　フンベルト・著／片山里一・訳　13―18
強く賢く善良に！　鈴木　靖　13―18
至難な親子の鑑別　大浦　孝秋　19―20
支那人は長寿　後藤朝太郎　21―22
厄年の弁　22
吃と遺伝　貝田　好美　23―29
太陽に訴ふ（一）　道広　御泉　30
劣生漫語　劣　生　坊　31―34
雑報　31―35
会友録　34―35
編輯後記　36

第六年第一二号　一九二九(昭和四)年一二月一日

徐ろに急げ　(1)
性愛の科学（四）　後藤　竜吉　2―5
六千三百万人　6
民族衛生学（優生学）の社会医学的使命（一）　古屋　芳雄　7―9
青少年犯人の研究（三）　吉益　脩夫　10―12
アルコールと児童問題（三）　フンベルト・著／片山里一・訳　13―18
日本学生排酒聯盟紀要　13―18
産児制限の急務　ハーロット、コックス　19―20
妊娠時交接の影響に就て　ルド井ッグ、バルリン　21―24
教育病理学（六）　三宅　鉱一　25―30
劣生漫語　劣　生　坊　31―34
雑報　31―34
会友録　34―35
編輯後記　36

第七年第一号　一九三〇(昭和五)年一月一日

年頭之辞　表紙
性愛の科学（五）　後藤　竜吉　2―6
民族衛生学（優生学）の社会医学的使命（二）

個性調査法（一）　古屋　芳雄　7―9
アルコールと児童問題（四）　武政　太郎　10―12
青年と『廿五歳禁酒法』　フンベルト・著／片山里一・訳　13―18
アルコール中毒を解毒するか　高島　米峰　13―18
所謂胎教と優生学（一）　石川千代松　19―22
高齢者の統計的観察（一）　吉栖　生一　23―24
聴唖児の教育　貝田　好美　25―31
太陽に訴ふ（二）　道広　御泉　32
劣生漫語　劣　生　坊　33―39
雑報　33―39
会友録　39
編輯後記　40

第七年第二号　一九三〇(昭和五)年二月一日

俗論流行　表紙
性愛の科学（六）　後藤　竜吉　2―6
個性調査法（二）　武政　太郎　7―9
個性と職業選択　三田谷　啓　10―12
高齢者の統計的観察（二）　吉栖　生一　13―18
国家禁酒は世界の大勢　阪谷　芳郎　13―18
所謂胎教と優生学（二）　石川千代松　19―21
亀井氏の心霊実験を見て　大浦　孝秋　22―24
教育病理学（七）　三宅　鉱一　25―29
太陽に訴ふ（三）　道広　御泉　30
劣生漫語　劣　生　坊　31―35
雑報　31―35
会友録　35
編輯後記　36

第七年第三号　一九三〇(昭和五)年三月一日

貧乏線　(1)
性愛の科学（七）　後藤　竜吉　2―6
個性調査法（三）　武政　太郎　7―9
明治初年千葉県下に於ける育児令　山崎　佐　9―12
高齢者の統計的観察（三）　吉栖　生一　13―18
都会のこどもの健康調べ　酒井　幹夫　13―17
個性調査法（二）　武政　太郎　7―9

文化は反逆す　逆転生　17―18
不景気挽回と国家禁酒政策　フイリップ、スノーデン　19―22
心霊現象の実験を見て（二）　大浦孝秋　22―24
教育病理学（八）　三宅鉱一　25―29
太陽に訴ふ（四）　道広御泉　30
劣生漫語　劣生坊　31―35
雑報　31―35
編輯後記　36

第七年第四号　一九三〇（昭和五）年四月一日

時の力　後藤竜吉　2―5　(1)
性愛の科学（八）　6
血圧降下に西瓜のタネ／科学の力で人間製造
Soviet Russia に於ける家庭生活状態　大林道子・訳　7―9
科学的に観た飲酒の影響　小熊虎之助　9―12
高齢者の統計的観察（四）　吉栖生一　13―18
民間薬としての黒焼き　野崎信夫　13―16
人工母性愛　後藤直　16―18
明治初年千葉県下に於ける育児令（二）　山崎佐　19―22
将来の犯罪傾向　金子準二　22―24
避妊の理論と実際　柏原長弘　25―30
劣生漫語　劣生坊　31―34
雑報　31―35
会友録　34―35
編輯後記　36

第七年第五号　一九三〇（昭和五）年五月一日

五月来　後藤竜吉　2―5　(1)
性愛の科学（九）　6
小学生の理想の弁当　藤原
性的犯罪人は去勢す可きか　ウルフ　7―10
米国加州の優生学的滅種法　内務省衛生局　10―11
米国デルウエヤー滅種法改正　内務省衛生局　11―12
産児調節の是非調査　内務省　12
高齢者の統計的観察（五）　吉栖生一　13―18

夏と子供　13―18
明治初年千葉県下に於ける育児令（三）　山崎　佐　19―22
Soviet Russia に於ける家庭生活状態　大林道子・訳　22―24
教育病理学（九）　三宅　鉱一　25―30
劣生漫語　劣　生　坊　31―34
雑報　31―35
会友録　34―35
編輯後記　36

第七年第六号　一九三〇（昭和五）年六月一日

衆愚　ホ井ーザム　2―6
『優生学』綱要　(1)
血液型と学業成績　林　醲　7―8
禁酒問題資料　廿五歳禁酒法期成同盟　8―10
不良児となる恐しい四原因　小関　光尚　10―11
質疑応答　12
精神病者の結婚統計に就て　田結　宗誠　13―20
生活難から　13―14
夏と子供　14―20
産児制限　杉田　直樹　21―23
丁抹の滅種法　内務省衛生局　24
教育病理学（十）　三宅　鉱一　25―30
太陽に訴ふ（五）　道広　尊文　31―35
雑報　31―35
編輯後記　36

第七年第七号　一九三〇（昭和五）年七月一日

自然と人生　(1)
私の所謂『劣生漫語』に就て　後藤　竜吉　2―10
血液型による団体的気質の研究　古川　竹二　11―15
米国州立病院に於ける優生学的断種術の統計　15―16
禁酒問題資料　二十五歳禁酒法期成同盟　16
日本優生学会設立の機運と優生学団体国際聯盟の状況　阿部　文夫　17―22
健康優良児か早熟児か　17―19

低能児の見分け方　19―20
ワ博士の若返り法　20―21
脈搏の数　21―22
男子の結婚生活は長命息災の薬　23―24
米国産児制限同盟の主張と其の計画　米国産児制限同盟　24―26
如何にうまるべきか（上）　佐藤七五郎　27―32
会友録　33―35
雑報　33―35
編輯後記　36

第七年第八号　一九三〇(昭和五)年八月一日

優良児不遇　(1)
新マルサス主義侵潤の危機　古屋　芳雄　2―5
多産多死で屍の海　6
血液型による団体的気質の研究（二）　古川　竹二　7―12
革命的断種法草案　13―18
断種法施行上の精神病者　13―14
瑞典の民族衛生的断種法案　15―16
避妊手術に就て　渡辺　範介　16―18
チブスより猛烈な黴毒の巣窟　19
血族結婚の最近の学説　永井　潜　20―22
血族結婚の可否　20―21
或不良児の歩いた道　式場隆三郎　23―29
母の家　小橋実之助　30―33
雑報　34―35
編輯後記　36

第七年第九号　一九三〇(昭和五)年九月一日

九月の風　(1)
体質と遺伝　柴田　保　2―5
血液型による団体的気質の研究（三）　古川　竹二　6―11
学校給食問題　竹村　一　12―13
産児制限の現実性　川上　貫一　14―17
父と娘に愛は甦らず　14―15
子宝ほしさのナンセンス　16―17

母なればこそ　17
産児調節に対する私案　浅田　一　18―22
理想の結婚　如何にうまるべきか（中）　佐藤七五郎　23―27
ロダンの「接吻」を語る　28―29
歌集「生命線」を薦む　島内　八郎　30
女流歌壇　30
劣生漫語　劣生坊　31―34
雑報　31―35
会友録　34―35
編輯後記　36

第七年第一〇号　一九三〇（昭和五）年一〇月一日

昭和維新　-
日本民族衛生学会成る　2―5
血液型による団体的気質の研究（四）　古川　竹二　6―9
アメリカの母性保護事業に参加して　保良せき子　10―11
農村と産児制限　杉山元治郎　12―13
結核と社会風教　竹内　清　14―21
精神病者の断種実施に就いて　杉田　直樹　22―32
雑報　33―35
女流歌壇　35
編輯後記　36

第七年第一一号　一九三〇（昭和五）年一一月一日

批判の変遷　(1)
断種の歴史　小野清一郎　2―6
断種と性欲　ジョン、ヴルウインク／ポール、ポピノー　7―11
双児の体格の相違とその原因　ブランデス　12
結核病者の双生児遺伝関係　フエルシユエル　12
妊娠初期の簡易診断法　白井貞次郎　13―17
胎教　佐藤七五郎　18―22
米国大学生に結婚に関する教育を施せ　ポール、ポピノー　23―30
女学校で接吻の仕方を教えよ　ランデッ　23

手相の神秘　井伊　義男　30―34
女流歌壇　35
読者より　35
編輯後記　36

第七年第一二号　一九三〇(昭和五)年一二月一日

エロとグロ　(1)
輓近のスポーツ生理学（一）　古沢　一夫　2―7
性ホルモンに就て　安田　竜夫　8―9
喫煙婦人は不妊症　9
学童の結核（一）　野瀬善三郎　10―13
断種に関する法律家の所見　小野清一郎　14―16
米国産制運動の父オウエン　佐々木　愛　17―20
ヨロツパの堕胎と避妊　浅田　一　21
大衆的避妊時代来らん　22
無産党各派が実際運動　22
阿部野優生相談所の実績　22―23
不徹底な避妊防止令　23
妊娠調節の実際問題　加藤　時也　24―25
未成年者の酒煙草調査　25
胎教（二）　佐藤七五郎　26―33
会友録　34
紐育養老年金制／児童虐待防止法案を作らん／メキシコの多産系の双子　34
自由歌壇　35
編輯後記　36

第八年第一号　一九三一(昭和六)年一月一日

嘘　(1)
眼病の遺伝　小口　忠太　2―3
１９３１年型美人　マルセル、バリエル／ジイグ、フエルド　4
日本の緑茶は不老若返り薬　4
人間の油脂　小山　亮清　5―6
鴛鴦の貞操を調べる　7
インドの早婚禁止　7
結婚費を節約せよ　7
学童の結核（承前）　野瀬善三郎　3・8―13

社会事業家の見たる結核問題　牧野　虎次　14
天才の異常　アーリ、ヴエイル・著／P・Y・K・訳　15―18
社会政策と医師　カントロヴイツ・著／瀬口周道・訳　19―22
輓近のスポーツ生理学（承前）　古沢　一夫　23―26
殺人事件　ある法医の手記　天木　露生　27―29
日本民族衛生学会発会式並に記念公演会（詳報）　30
内務大臣祝辞　30
学士院長祝辞　30
社会問題としての精神低格者　三宅　驥一　30
産児調節と社会的貧困　古屋　芳雄　30
遺伝と犯罪　杉田　直樹　31
人口問題と優生学　石川千代松　31
遺伝と優生　下村　宏　22
思想の数字的表現　国友　鼎　32・34
子供と処罰　生地　憲　33―34
編輯後記　35
PRI SEKSHORMONO　T.JASUDA　36

第八年第二号　一九三一（昭和六）年二月一日

処世訓　(1)
マルサスは産児制限を主張せぬ　伊藤　久秋　2―4
結核と反逆心　杉田　直樹　5―8
団体の血液型　浅田　一　9―13
台湾蕃族に於る血族結婚に就いて（一）　浅井　恵倫　14―17
男性不妊症の原因と其療法　駒屋　銀治　18―22
輓近のスポーツ生理学（三）　古沢　一夫　23―29
血液型及指紋に関する邦文文献目録　30―31
殺人事件　ある法医の手記（二）　天木　露生　32―34
編輯後記　34―35
PRI SEKSHORMONO（2）　T.JASUDA　36

第八年第三号　一九三一（昭和六）年三月一日

世紀遅れ　(1)
血液型から人間型へ（一）　吉田　寛一　2―6

台湾蕃族に於る血族結婚に就いて（二）　浅井　恵倫　7―11
性『ホルモン』に就て（二）　安田　竜夫　12―14
迷信と日刊新聞　石川千代松　15―19
現代のキリスト教と産制　N　K　生　19―20
産児制限の理論的方面　安部　磯雄　21―25
アメリカの産制の実際　馬島　僩　25―26
子に親を撰ぶの権利あり　東　政子　27―28
血族結婚に弊害なき場合なし　小口　忠太　29
優生学世界年鑑　30―31
劣生漫語　32
血液型に関する邦文文献目録（二）　33―34
PRI SEKSHORMONO（3）　T.JASUDA　35―36

第八年第四号　一九三一（昭和六）年四月一日

漫談　(1)
副乳と妊娠頻度　樋口　栄　2―6
血液型から人間型へ（二）　吉田　寛一　7―16
産児調節論雑考　石川　光昭　17―22
男女の決定が思ふまゝに可能となる時代来らん　大平　頼母　23―26
人獣虫の第六官感　白井　紅白　27―29
雑報　30
本邦に於る血液型に関する文献目録（三）　31―32
会友録　33
編輯後記　33
エス語欄
PRI SEKSHORMONO（4）　T.JASUDA　改1
大本とエスペラント　伊藤　栄蔵　改2―3

第八年第五号　一九三一（昭和六）年五月一日

似而非者論　(1)
血液型に関する研究　古畑　種基　2―17
血液型から人間型へ（三）　吉田　寛一　18―30
雑報　30
本邦に於る血液型に関する文献目録（四）　31―32
エスペラント欄
FORKURO kaj EMANCIPO de TEMPL-

AJ GESKLAVOJ en NARA EPOKO.（1）　由比忠之進　改1
仏教とエスペラント　柴山　慶　改2－4

第八年第六号　一九三一（昭和六）年六月一日

人声人語　(1)
癌の遺伝　井手　政雄　2－5
家族性先天性小眼球及虹彩脈絡膜欠損の遺伝形式に就て　川上　理一　6－7
性『ホルモン』に就て（三）　安田　竜夫　8－9
大本の結婚観　北村　隆光　9－10
教師並に保護者に訴ふ　田村　肇　11－12
人魂・獣魂・幽霊の研究（一）　白井　紅白　13－16
会友録　16
性教育は如何にすべきや　余田　忠吾　17－22
血液型検査とアボテスト　22
興味と実用一〇〇%の『血液型座談会』　23－29
雑報　30
本邦に於る血液型に関する文献目録（五）　31－32

エスペラント欄

FORKURO kaj EMANCIPO de TEMPL-
AJ GESKLAVOJ en NARA EPOKO.（2）　由比忠之進　改1
医学とエスペラント　西　成甫　改2－3

第八年第七号　一九三一（昭和六）年七月一日

興業体育　(1)
貧困と疾病との因果関係　田結　宗誠　2－11
血液型と気質の問題の批判に対して　古川　竹二　12－26
断種術の男子に及ぼす影響　ポール、ポピノー　27－28
仏教の結婚観（1）　太宰不二男　29
雑報　30
本邦に於る血液型に関する文献目録（六）　31－32
性欲と恋愛　南　晶世　改1－3
盲人とエスペラント　進藤　赳　改3－4

第八年第八号　一九三一（昭和六）年八月一日

流行病　大庭　士郎　2―6
血液型の進化　松井　三雄　7―12
血液型と精神型　壁島　為三　13―16
最新血型検査法　岩崎　盈子　16―18
児童保護の階級性　大石　貞夫　19―23
産児問題　菅野　寛一　24―29
本邦人の主食　太宰不二男　30―31
仏教の結婚観（2）　31―32
雑報　(1)
本邦に於る血液型に関する文献目録（七）　33
FORKURO kaj EMANCIPO de TEMPL-
AJ GESKLAVOJ en NARA EPOKO.（3）
由比忠之進　改1―3

第八年第九号　一九三一（昭和六）年九月一日

国際信義　(1)
輸血に就て　中野　操　2―15
血液型と気質の問題に関する異説（前篇）
樋口　栄　16―21
産児問題②　大石　貞夫　22―23
死刑の話　黒田　啓次　24―29
本邦に於る血液型に関する文献目録（八）　30
血液型研究消息　31―32
会員録　32
雑報　33
Rivelo de Retino　小酒井不木／南晶世　34―36

第八年第一〇号　一九三一（昭和六）年一〇月一日

自然と人生　(1)
混血児について　谷本　富　2―6・17
血液型の遺伝型式　宮路　重嗣　7―17
血液型と気質の問題に関する異説（後篇）
樋口　栄　18―35
産児問題③　大石　貞夫　36
気候に対する新考察　南淵　芳雄　37―43

血液型研究消息　43—45
本邦に於る血液型に関する文献目録（九）　46
FORKURO kaj EMANCIPO de TEMPL-
AJ GESKLAVOJ en NARA EPOKO.（4）
由比忠之進　改　1—2

第八年第一一号　一九三一（昭和六）年一一月一日

挙国一致　(1)
血液型に基き進歩せる個性型の研究
石川七五三二　2—25
黴毒と結婚　並木　重郎　26—30
産児問題④　大石　貞夫　31—35・38・46
学校に於ける肝油服用と健康教育　竹村　一　36—38
妊孕に関する奇聞　白井　紅白　39—42
本邦に於る血液型に関する文献登録（一〇）　43
血液型研究消息　44
雑報　45—46
会員録　46
LA FIZIKA EDUKADO DE LA SVEDA
LERNEJA JUNULARO. B.E,Littorin　改　1—2

第八年第一二号　一九三一（昭和六）年一二月一日

偉人の生死　(1)
母子間に於ける血液型の種属及び其数量的関係
奥　源之助　2—11
精神病者の断種に就て　金子　準二　12—15
早発性痴呆の遺伝的関係　和田　三郎　16—27
大阪市学童の発育調査　27
精神衛生運動　27
黴毒と結婚（二）　並木　重郎　28—31
不良少年の情緒研究　樋口　栄　32—40
児童保護講習会　40
血液型に関する文献目録（外国の部）　41—43
FORKURO kaj EMANCIPO de TEMPL-
AJ GESKLAVOJ en NARA EPOKO.（5）
由比忠之進　改　1—4
Dissekco de Kadavro　南　晶世　改　4—5

第九年第一号　一九三二(昭和七)年一月一日

巻頭謝辞　(1)
血液型と民族　高崎佐太郎　2―7
子宮癌治療の現況　安藤　画一　8―12
言語障害と偉人　貝田　好美　13―14・43
不良少年の情緒研究（第二回）　樋口　栄　15―19・43
真の婦人美　西村　真次　20―21・43
避妊の実際十六例（抄訳）　フッチヤー・原著／南淵芳雄・抄訳　22―23
血液型雑話　岸　孝義　24―30
黴毒と結婚（二）　並木　重郎　31―42
Dissekco de Kadavro（2）　南　晶世　44
La motivo, kiu konvertis min al Zen-Budhismo, de Zera Ormsby 孤雲　45―46
Nunaj Japnujo kaj Hinujo.　46―47
Epizodo de Manguria Akcidento.　48

第九年第二号　一九三二(昭和七)年二月一日

認識不足　(1)
真の人口自然増加率　水島　治夫　2―8
癩の遺伝　青木　大勇　9―16
吃治療界の現況　貝田　好美　17―20
動物界の育児法　近藤　重好　21―23
不良少年の情緒研究（第三回）　樋口　栄　24―30
新血液型の父子鑑定　ピア、ウエベル・述／南淵芳雄・抄訳　30
小児婚に関する文献二、三　白井　紅白　31―32
処女膜秘話　32―33
Dissekco de Kadavro（3）　南　晶世　34―35
Kio estas Rajdant-ravisto?　35―36

第九年第三号　一九三二(昭和七)年三月一日

口絵　猿公より人類へか人類より猿公へか　(1)
残骸政党

個性と職業選択　三宅　鉱一　2―4
Ｉｔの話　4
ホルモンに依る避妊法
偉人出現の法則　関　寛之　12―16
不良少年の情緒研究（第四回）　5―11
精神病者収容施設　樋口　栄　17―20
後世にも残る命名こそ考究す可し　水内幸次郎　21―23
日本民族衛生学会趣意書　23
徽毒と結核（四）　並木　重郎　24―25
日本一の健康児探し　25
新血液型の父子鑑定（二）
ピア、ウエベル・述／南淵芳雄・抄訳　26
排酒三題
関東軍と酒　井上　一次　27―28
防寒と酒　諸岡　存　28
飲酒と耐寒　林　春雄　28―29
噫！　リデル女史　29
学生思想悪化の原因　30
科学者の見た身の上判断相性判断　佐多　芳久　31―36
三田谷氏の事業後援　36
丸山博士の血液型　36

第九年第四号　一九三二(昭和七)年四月一日

口絵　畸形児のさまざま
遺伝より境遇　山内　繁雄　2―5
飲酒に陥る原因と年齢　5
前置胎盤の解説　河野　重信　6―8
不良少年輯覧
1、犯罪少年と智能　成田　勝郎　9―15
2、グレと其の生活（一）　新堀　哲岳　15―17
遺伝と民族発展　鶴見　三三　18―22
会員録　22
近親婚の展観（一）　白井　紅白　23―25
禁酒禁煙の導守週間　25
徽毒と結婚（五）　並木　重郎　26―30
世界誌上管見　31―32
街の優生学　33―35
後記　36

第九年第五号（第百号記念準備号）　一九三二（昭和七）年五月一日

口絵　多産児と智能　谷本　富　2―8
混血児研究の補遺　8・36
会員録
酒精中毒患者雑考　諸岡　存　9―13
日本人の標準体格　10―12
血液型の遺伝　13
血液型と気質の問題に就て　太田　外正　14―17
雑録（一）　17
人類遺伝の統計的研究法の現況　石崎有信・訳　18―25
雑録（二）　25
街の優生学　26―27
近親婚の展観（二）　白井　紅白　28―29
不良少年の情緒研究（第五回）　樋口　栄　30―33
規範法としての権威　未成年禁酒法十週年に際して　泉二　新熊　34―35
後記　36

第九年第六号（満百号紀念号）　一九三二（昭和七）年六月一日

口絵　五胎児　五斗　欽吾　2―5
遺伝と優生学
世相鏡　5
神経衰弱症と精神変質を区別すべし　高良　武久　6―8
性的犯罪に就て　金子　準二　9―11
子供製造の大競争　11
優生学文献抄（一）　白井　紅白　12―14
ルンペンと性欲（一）　14・52
精神衛生に就て　大西　義衛　15―19
ヒットラ運動と青年　高倉　忍　15―18
死亡原因調べ　19
優生学と結婚
石川千代松／黒田啓次／浅田一／諸岡たか子　20―23
疾病遺伝に関する二三の問題　川上　理一　24―26
畸形先天性弱質及乳児に固有の疾患に依る死亡の各府県別調査　26

多胎妊娠の話　西塚　泰順　27―28
海外だより　29―31
不良少年の情緒研究（第六回）　樋口　栄　32―35
学童弁当に関する調査　下田　吉人　36―42
海外の研究　43―44
音楽と信仰の家族系譜　M・J、ブラウン　43―44
学課好悪の系譜　ロバート、クレッスウエル　44―45
会員録　45
婚姻学　46―47
仁術の王者　常盤　昌　48―52
満百号に際して　後藤　竜吉　53―55
後記　56

第九年第七号　一九三二（昭和七）年七月一日

口絵　惨たる遺伝の家系図／燦たる遺伝の家系図　速水　寅一　2―5
犯罪者の血液型　佐藤　俊三　6―12
大正年間に於ける優生運動　12
会友録
何故人類の性欲は強いか　渡瀬庄三郎　13―15
精神異常児の教育に二百万法をポンと出す　15
分娩予定日算出に就て　野島規矩男　16―17
海外だより　18―20
不良少年の情緒研究（第七回）　樋口　栄　21―26
産制は、結局婦人のもの！　26
学童弁当に関する調査（二）　下田　吉人　27―32
犯罪と健康の関係　三村　敏太　33―34
精神薄弱児童を如何せん　谷本　富　35―36
問答三則　高田義一郎　36
貴問に答ふ　大西　義衛　36―37
斯くすべし　西川　為雄　37
国営の研究所を提唱　三田谷　啓　37―38
三つへの答　小関　光尚　38―39
御照会に対する回答　39
『優生学』的俚言集　40
後記

第九年第八号　一九三二（昭和七）年八月一日

口絵　日本一・健康の誉れ!!
社会問題としての精神病（遺稿）　呉　秀三　2－6
遺伝の話（一）　小関　光尚　7－12
海外だより　13－14
産児制限特輯
社会医学的に必須なる産児制限　田結　宗誠　16－18
避妊の適応　本多　操　18－24
産児制限と婦人
御回答　神近　市子／新妻伊都子　25
御返事　水戸　久子　26
不良少年の情緒研究（完）　樋口　栄　27－31
産児制限は医学上の必要のみに！　31
要保護少年及少女の黴毒反応に就て　鈴木　仁　32－37
早大講師東戸策氏の発明　37
朝鮮医師、歯科医師試験　37
優生学文献抄（二）　白井　紅白　38－39
後記　40

第九年第九号　一九三二(昭和七)年九月一日

口絵　血液型の発見者ランドスタイナーとその自署　(1)
巻頭の辞
遺伝単位としての憤怒性に就て　左座　金蔵　2－4
遺伝の話（二）　小関　光尚　5－8
昭和六年度の人口増加実に八十六万人　8
堕胎を公認せよ!!
精神衛生施設拡充に関する方策如何　9
乳児保護と逆淘汰問題　川人　定男　10－17
避妊の適応（二）　本多　操　18－24
会員録　25－33
後記　34

第九年第一〇号　一九三二(昭和七)年一〇月一日

恋愛結婚と不幸
良質の遺伝　鶴見　三三　2－7　(1)

海外だより　8―9
潜伏性黴毒を有する不良少年の特殊神経症状に就て　鈴木仁／玉井武　10―16
盗癖と性本能　実生すぎ　17
『ショック』死に就て　佐野甚七／高折隆一　18―27
家畜の怪奇　白井紅白　28―31
多産の新記録　31
近視眼と遺伝関係に就て　光藤介　32―36
後記　36

第九年第一一号　一九三二（昭和七）年一一月一日

口絵　脳水腫百態
優生学上より見たる両性　山内繁雄　2―6
海外だより　7
血液型（血清学的個人型）と気質との相関問題　丸山芳登　8―15
小学校教育に必要な児童の視力　山本脩一郎　16―24
『ショック』死に就て（二）　佐野甚七／高折隆一　25―32
潜伏黴毒に因する神経症状の治療成績に就て　鈴木仁　33―38
婦人の体質とスポーツ　河本禎助　39―40
後記　40

第九年第一二号　一九三二（昭和七）年一二月一日

口絵　日本民族衛生学会講演会
後天性は遺伝するか　田中義麿　2―10
優生学文献抄（三）　白井紅白　11―12
優生学　入江英雄　13―14
月経時の授乳は？　西川為雄　14―15
バイブルを支配する民族衛生　佐藤俊三　16―28
アルコール雑纂　雨宮保衛　29―31
児童とアルコール問題　杉田直樹　31―32
酒酔の研究　33―34
支那綺談　34
会員録

第一〇年第一号　一九三三(昭和八)年一月一日

口絵　精神薄弱児
バイブルを支配する民族衛生（二）　佐藤　俊三　2―11
七福具足の人生理想　三輪田元道　12―15
表情美の習練　須田山　誠　12―19
犯罪原因としての精神病　金子　準二　16―20
児童問題特輯
　虚弱児童と栄養の問題　小川　原亮　22―25
　要保護少年の夜尿に就て　足立善之亮　25―29
　子供が罹り易い冬の病気　西原　京一　29―32
会員録　33
後記　34

第一〇年第二号　一九三三(昭和八)年二月一日

口絵　第三区外島保養院の入院患者が組織する野球チーム／同院患者が演ずる演芸大会とそのクローズアップ
癩号の辞
癩に関する特輯（その一）
　癩及び鼠癩の研究　太田原豊一　3―9
　癩病と血液型　宗内　敏男　9―22
　癩に就て　森井　信夫　22―37
　癩患者の性生活及び避妊問題　野島　泰治　38―42
バイブルを支配する民族衛生（三）　佐藤　俊三　43―48
後記　48

第一〇年第三号　一九三三(昭和八)年三月一日

口絵　先天性手掌及足蹠角化症
遺伝より観たる未来の社会　田中　義麿　2―11
コドモをよくするための展覧会　11
潜伏黴毒を有する保護少年の環境に就て　林　信一　12―18
職業と健康　ゼネバ国際労働局・発行／南淵芳雄・抄訳　19―25・28
雛祭には甘酒　高島　米峰　26―28
会員録　28

第一〇年第四号　一九三三(昭和八)年四月一日

口絵　鎖骨形成不全
癩は伝染病で遺伝はしない　村田　正太　2―6
呼吸器の癩（第一報）　田尻　敢　7―15
精神病の話（一）　三宅　鉱一　16―19
桜とその名所　手塚　速文　20―23
怪傑ヒツトラーを語る　山之内　昇　20―23
優生学文献抄（四）　白井　紅白　24―26
子供の睡眠時間　26
会員録　26

第一〇年第五号　一九三三(昭和八)年五月一日

産児制限と優生学　(1)
『血液型に依る心理学的個性類型説』の批判
（一）　守安　直孝　2―8
腺様増殖症と血液型　谷村　久男　9―11
壮烈！武人の心懐　12
間違ひ易い幼児の育て方　冬夏　学人　13―16
健康児童十則　16
未成年者に就て為された酒と煙草の調査
禁酒禁煙遵法運動中央委員会　17―28
精神病の話（二）　三宅　鉱一　29―32
雑録　33―36
会友録　36

第一〇年第六号　一九三三(昭和八)年六月一日

極端と極端　(1)
人類の本能と民族愛の必然性　山田信一郎　2―4
乳幼児愛護の唄　4
結婚と遺伝　斎藤常之助　5―8
自殺と他殺　草刈　春逸　9―10
自殺の原因：
三面記事の華、殺傷害事件　大西　義衛　11―18
天才と狂人と常人の心理解剖　太田　秀穂　19―21
天才と狂人論　21
近親結婚の常識　22

精神病の話（三）　三宅　鉱一　23―27
女性の恋愛心理　28
優生学文献抄（五）　白井　紅白　29―30
雑録　31―36
会友録　36

第一〇年第七号　一九三三(昭和八)年七月一日

狷介な私論　(1)
有色人種と白色人種との皮膚色に就ての研究
（一）　福山　匡敏　2―8
珍風奇俗譚　8
近視眼と素因との関係に就て　足利　陸朗　9―11
嫉妬の話　10―11
不肖の子の医学的解剖　片山　国嘉　12
血液型に依る心理学的個性類型説の批判（二）　守安　直孝　13―18
排卵期と受胎期（一）　安田　竜夫　19―21
初潮の話　21
街の優生学　22・28
少年に於ける副食物及び食味の嗜好並に之が歯牙に及ぼす影響に就て　岡垣松太郎／酒井修一　23―28
雑報　29―31
談話室　32
会友録　32

第一〇年第八号　一九三三(昭和八)年八月一日

現実の暴露　(1)
親子関係の話　世良　完介　2―5
昨年度の内地人口未曾有の増加　6
排卵期と受胎期（二）　安田　竜夫　7―9
悪質結婚劣生の血統行進
眼疾に現はれる血族結婚の弊　10
劣性所有者の血族結婚は明かに否　斎藤　平吉　10―11
有色人種と白色人種との皮膚色に就ての研究
（二）　福山　匡敏　12―14・22
血液型に依る心理学的個性類型説の批判

（三）　守安　直孝　15―16・22
精神病の話（四）　三宅　鉱一　17―21
癩患者に同情せられる方は必ずお読みください　村田　正太　23―25
性的秘薬の今昔譚　溝口　完二　26―29
雑報　30―31・22
談話室　32

第一〇年第九号　一九三三（昭和八）年九月一日

権力金力と言論　(1)
所謂五・一五事件　厳粛なる国民自決の問題　2―5
ナチスの優生学　6
血液型より見たる海軍兵の気質体格罹病学業成績並機関科各種練習生の適性に就て（一）　原田　福象　7―14
有色人種と白色人種との皮膚色に就ての研究（三）　福山　匡敏　15―20
壁に喚く人々　壺　堂　生　21―30
雑報　31―32
会友録　32

第一〇年第一〇号　一九三三（昭和八）年一〇月一日

米が余る　(1)
血液型より見たる海軍兵の気質体格罹病学業成績並機関科各種練習生の適性に就て（二）　原田　福象　2―8
精神化学の話　安田　守雄　9―12・22
血液型に依る心理学的個性類型説の批判（四）　守安　直孝　13―16
自殺した二人の医師　黒田　啓次　17―22
壁に喚く人々（その二）　壺　堂　生　23―30
雑録　31―32

第一〇年第一一号　一九三三（昭和八）年一一月一日

裁かるゝ日　(1)
断種法建議案　2
人口自然増加率の比較方法に就て　川人　定男　3―4

血液型より見たる海軍兵の気質体格罹病学業成績並機関科各種練習生の適性に就て（三）　原田　福象　5―12
人工妊娠法　川島　長雄　13―15
血液型に依る心理学的個性類型説の批判（五）　守安　直孝　16―20・15
雑種の犬に認めたる優性遺伝病（多趾症）の一例に就て　樋口　栄　21―24
壁に喚く人々（その三）　壺堂生　25―30
雑録　31―32

第一〇年第一二号　一九三三（昭和八）年一二月一日

歳末怱忙　(1)
脳重量と職業生活との関係　谷口　政秀　2―4
唾液型と性格　千葉　4
工場と結核　助川　浩　5―7・21
血液型に依る心理学的個性類型説の批判（六）　守安　直孝　9―17
酒と性病と精神病　小鳥井　譲　18―21
新聞記事と子供の世界　22
壁に喚く人々（その四）　壺堂生　23―32
雑録　33―34
会友録　34

第一一年第一号　一九三四（昭和九）年一月一日

聖寿万歳　(1)
断種片論　田結　宗誠　2―4
不良者発生の原因と民族衛生　太田　秀穂　5―7
優生学の実際的応用への前提　朝比奈一男　8―10
精神病学を透して見たる人間　安藤　守元　11―16
保護少年に於ける色盲の統計的観察　北谷　博玄　17―20
会友録　20
姿勢と犯罪性　21―22
壁に喚く人々（その五）　壺堂生　23―30
遺伝病防止法　31―33
雑録　34―35

第一一年第二号　一九三四(昭和九)年二月一日

審判者　池見　猛　2―4　(1)
年齢別による指紋と身長　池田　千年　5―7
児童精神病院の必要に就て　児玉　昌　8―9
愛知県下に於ける精神病者、精神薄弱者調査報告
精神病学を透して見たる人間(二)　安藤　守元　10―14
保護少年の黴毒反応に就て　北谷　博玄　15―17
癌にかゝらぬ注意　長与　又郎　18―22・17
壁に喚く人々(その六)　壺堂生　23―29
雑録　30―32

第一一年第三号　一九三四(昭和九)年三月一日

看板に譎あり
環境と性格との関係(第一報)　池見　猛　2―17　(1)
最近大阪府立中宮病院に於て取扱ひたる慢性「モルヒネ」中毒患者百例に就て　森本　誉愛　18―22・25
血族結婚の可否　23―25
結婚と色盲との関係　近藤　忠雄　26―28
雑録　29―30

第一一年第四号　一九三四(昭和九)年四月一日

旧暦と新暦
環境と性格との関係(第二報)　池見　猛　2―12　(1)
会友録　12
色彩感覚の発達と民族性の研究　福山　匡敏　13―18
在満朝鮮同胞の現状　小笠原省三　19―25
魚の優生学　26
壁に喚く人々(その七)　壺堂生　27―30
雑録　31―32

第一一年第五号　一九三四(昭和九)年五月一日

鯉幟り
胎教と科学　石川千代松　2―4　(1)

生物の行く方！　田中　義麿　5―11
古今東西聖賢偉人配偶者物語　永富　均　12―13
未成年者喫煙禁止法　14
未成年者飲酒禁止法　14
遵法の精神と未成年者禁酒・禁煙法　皆川　治広　15―17
未成年者飲酒禁止法の精神とその適用　中島　玉吉　18―20
壁に喚く人々（その八）　壺堂生　21―29
雑録　30―32
会友録　32

第一一年第六号　一九三四(昭和九)年六月一日

新緑　(1)
生物の行く方！（二）　田中　義麿　2―6
兵庫県結婚案内所　7―10
色彩感覚の発達と民族性の研究（二）　福山　匡敏　11―21
児童とアルコール問題　雨宮　保衛　22―24
体質と環境に就て　目黒　八朗　25―29
雑録　30―32
会友録　32

第一一年第七号　一九三四(昭和九)年七月一日

昭和維新　(1)
輝かしき昭和維新の原動力　松岡　洋右　2―3
中央亜細亜に磨く英露の毒牙　満川亀太郎　4―7
色彩感覚の発達と民族性の研究（三）　福山　匡敏　8―14
潜伏黴毒を有せる要保護少年の犯罪歴　鈴木　仁　15―24
体質と環境に就て（二）　目黒　八朗　25―30
あかんべの始り／香の物の始り　30
雑録　31―32

第一一年第八号　一九三四(昭和九)年八月一日

「自殺の児童」　大西　義衛　(1)―3・23

色彩感覚の発達と民族性の研究（二）　福山　匡敏　4―12・23
潜伏黴毒を有せる要保護少年の犯罪歴（二）　鈴木　仁　13―23
雑録　24
第一一年第九号　一九三四（昭和九）年九月一日
本邦並に欧米諸国の出生率、死亡率及人口自然増加率の比較考察（其二）　川人　定男　(1)―10
家族制度の近代的分壊　中川善之助　11―13
色彩感覚の発達と民族性の研究（三）　福山　匡敏　14―22
体質と環境に就て（三）　目黒　八朗　23―26
「夏を詠んだ名歌」　綱木　時雨　27―29
国民健康保険制度要綱案　社会局　30―31
雑録　32
会友録　32
第一一年第一〇号　一九三四（昭和九）年一〇月一日
本邦並に欧米諸国の出生率、死亡率及人口自然増加率の比較考察（其二の二）　川人　定男　(1)―11
色彩感覚の発達と民族性の研究（四）　福山　匡敏　12―18
珍奇異聞　物の始り集　19―20
体質と環境に就て（四）　目黒　八朗　21―23・20
雑録　24
会友録　24
第一一年第一一号　一九三四（昭和九）年一一月一日
色彩感覚の発達と民族性の研究（五）　福山　匡敏　(1)―12
婚姻雑記　春秋生　12―14
会友録　14
体質と環境に就て（五）　目黒　八朗　15―21
子達の胃腸障碍に泣さるゝ親心の闇にエレドン

の出現　劣生坊　22―23
雑録　24

第一一年第一二号　一九三四(昭和九)年一二月一日

精神病学から観た親子心中　小峰茂之　(1)―4
『良い親』　石川千代松　5―7
色彩感覚の発達と民族性の研究(六)　福山匡敏　8―23
体質と環境に就て(完)　目黒八朗　24
雑録　25―26

第一二年第一号　一九三五(昭和一〇)年一月一日

年頭に当り国民に訴ふ　岡田啓介　(1)―2
男女関係と夫婦関係　渡辺英一　3―5・20
精神遺伝と結婚問題　光本天造　6―7
独逸の遺伝病の去勢と優生裁判　8
色彩感覚の発達と民族性の研究(七)　福山匡敏　9―20
娘の結婚は母親の第二のお産　篠田鉱造　21―22
虚無僧日記(一)　壺堂生　23―25
雑録　26

第一二年第二号　一九三五(昭和一〇)年二月一日

スポーツの及ぼす女性肉体への影響　斉藤一男　(1)―4
色彩感覚の発達と民族性の研究(八)　福山匡敏　5―13
堕胎魔懲役一年　馬島僩氏服罪か　13
崩れゆく公娼制度(一)　加藤寛二郎　14―19
虚無僧日記(二)　壺堂生　20―24
噫!石川博士　24

第一二年第三号　一九三五(昭和一〇)年三月一日

崩れゆく公娼制度(二)　加藤寛二郎　(1)―6
色彩感覚の発達と民族性の研究(九)　福山匡敏　7―11

男と女　独居楼処士　11―12
親と子の法律　榊原　良蔵　13―19
虚無僧日記（三）　壺　堂　生　20―22
雑録　23―24
会友録　24

第一二年第四号　一九三五（昭和一〇）年四月一日

崩れゆく公娼制度（三）　加藤寛二郎　(1)―6
色彩感覚の発達と民族性の研究（十）　福山　匡敏　7―16
人間は何を食べねばならぬか　岸　達二　17―19
虚無僧日記（四）　壺　堂　生　20―24
雑録　25―26
会友録　26

第一二年第五号　一九三五（昭和一〇）年五月一日

異常児精神的研究の重要性　大西　義衛　(1)―4・12
色彩感覚の発達と民族性の研究（十一）　福山　匡敏　5―12
崩れゆく公娼制度（三）　加藤寛二郎　13―18
虚無僧日記（五）　壺　堂　生　19―22
日本人一ヶ年間の飲酒料と諸費　20
雑録　23―24
会友録　24

第一二年第六号　一九三五（昭和一〇）年六月一日

双生児と早発性痴呆　児玉昌／奥田三郎　(1)―3
新血液型M・N型の家族遺伝に就て　平沢　東一　3―6
色彩感覚の発達と民族性の研究（十二）　福山　匡敏　7―10
非常時に対する我等国民の覚悟　陸軍省新聞班　11―23
雑録　23―24

第一二年第七号　一九三五（昭和一〇）年七月一日

身体的諸測度の可変性と之に関与する外的諸条

件の発育論的考察　八木　高次　(1)―3
クレッチユマー性格分類の学問的価値　池見　猛　4―5
性格遺伝論反対の反対　池見　猛　5―6
色彩感覚の発達と民族性の研究（十三）　福山　匡敏　7―12
結婚年齢と職業　小山　隆　13―15
体育・運動・生理学
白馬岳及び中房温泉に於ける夏期登山者の訴病に就て　吾妻俊夫／森末克之　16―17
運動生理の研究　杉本　良一　17
スポーツ医学の研究　佐々木進／松山竜一　18―19
運動生理の研究　飯野富雄／知久源次郎／佐々木進　19―20
雑録　21―24
会友録　24

第一二年第八号　一九三五(昭和一〇)年八月一日

民族衛生学上より見たる性格遺伝研究の必須性　池見　猛　(1)―4
色彩感覚の発達と民族性の研究（十四）　福山　匡敏　5―29
雑録　30―31

第一二年第九号　一九三五(昭和一〇)年九月一日

うぢか育ちか　西　晋一郎　(1)―4
団体明徴の声明　4
南洋群島ヤップ島に於ける人口減少問題と其医学的対策　伊原　安固　5―10
農民道場に就て　小平　権一　11―12
抄録集
精神型と肉体型との関係　内田勇三郎　13
主として学校に於ける国民保健体操（ラヂオ体操）の普及状況に就て　中谷　重治　13―14
廿日間のラヂオ体操の効果　鳴海　顕　14―16
異人種体格の比較について　竹内　茂代　16―17
雑録　18―20
会友録　19

第一二年第一〇号　一九三五(昭和一〇)年一〇月一日

近時の思想傾向と我国民精神　江上　利生　(1)―5
新らしい結婚機関　三輪田元道　6―9
養子に関する優生的思想　大沢　一六　10―12
結婚上注意すべき遺伝病並に畸形　田中　作三　13―19
性問題と合理的近代生活　山田やす子　20―22
雑録　23―24

第一二年第一一号　一九三五(昭和一〇)年一一月一日

生理学の描く夢　林　醁　(1)―3・15
人は万物の霊長に非ず　南　八男子　4―9
女は何故早く老けるか　田口　勝太　10―15
性欲と温浴との関係　中桐確太郎　16―19
断髪のニホン、ムスメは何処へゆく?　成田　重郎　20―22
雑録　23―24
会友録　24

第一二年第一二号　一九三五(昭和一〇)年一二月一日

我が国家族制度の話　豊島　逸雄　(1)―4
色盲と職業　宇山　安夫　5―6
種族生存の一般的要件　C・G、キャンベル　7―9
読者通信　高　碧山　9
貞操の厳守せねばならぬ訳　八木　督介　10―14
腎虚の話　柳桜山人　14
近代戯曲に現れたる産児制限の思想　安倍　志郎　15―19
免疫学上より鑑たる飲酒　柳沢　賛治　20―21
雑録　22―24
会友録　24

第一三年第一号　一九三六(昭和一一)年一月一日

日本建国史と国民性　永田秀次郎　(1)―4
優等生と劣等生(一)　鈴木　直光　5―11
我観結婚生活　山本　友香　12―13

新しき母性の道　金子しげり　14―17
新年に用ひる海産物の話　奥村　秀基　17―19
江戸時代の堕胎風習とその専門職業家　八木　柳桜　20―28
新刊紹介　29
雑録　30
会友録　30

第一三年第二号　一九三六(昭和一一)年二月一日

優等生と劣等生（二）　鈴木　直光　(1)―10
寿命に交渉ある俚諺抄　10
我観結婚生活　光本　天造　11―12
望まれない児童　金子　準二　13―16
科学文明の拾年後　上田　昌之　17―19
鎌倉時代に現はれたる優生学的事実　20―21
乱婚時代の遺風としての歌垣　22―23
雑録　24

第一三年第三号　一九三六(昭和一一)年三月一日

犯罪者と断種　左座　金蔵　(1)―9
体型の遺伝　池見　猛　10―15
人口増加とシグモイド曲線　児玉　昌　16―18
人口問題としての職業婦人　大西　清治　19―22
雑録　23―24

第一三年第四号　一九三六(昭和一一)年四月一日

競争的場面における双生児の練習過程の類似に関する研究（一）　北脇　雅男　(1)―7
条件反射の実際（一）　小沼十寸穂　8―13
優等児研究の重要性に就て　大西　義衛　14―19
詩篇　空間　杉岡　正夫　19
不良少年の所謂改心　樋口　栄　20―23
果して昭和維新の大業成るや　24―27
煙草に寄す　岡田　道一　27―28
会友録　28

第一三年第五号　一九三六(昭和一一)年五月一日

二・二六事件の意義　蠟山　政道　(1)―3
競争的場面における双生児の練習過程の類似に関する研究（二）　北脇　雅男　4―11
条件反射の実際（二）　小沼十寸穂　12―15
酒乱の遺伝　池見　猛　16―22
徳川時代の人口問題　本庄栄治郎　23―26
Extract　27―28
会友録　28

第一三年第六号　一九三六(昭和一一)年六月一日

明治維新と昭和維新　横田　秀雄　(1)―5
飲酒癖の遺伝（一）　池見　猛　6―13
満洲農業移民の現況と衛生問題に就て　大坪　潔己　14―22
雑録　23―24
会友録　24

第一三年第七号　一九三六(昭和一一)年七月一日

人口問題と之に関聯せる諸問題　那須　皓　(1)―6・15
飲酒癖の遺伝（二）　池見　猛　7―15
完全内臓転位を併発せる双体蕃族婚話（一）　荒木　文吾　16―20
高　碧山　21―24

第一三年第八号　一九三六(昭和一一)年八月一日

乖離性精神病の遺伝学的研究（一）　池見　猛　(1)―15
殺害恐怖の成立機転に就て　堀田　繁樹　16―19
海の衛生講話　吉田　章信　20―22
蕃族婚話（二）　高　碧山　23―25
Extract　25―28
会友録　28

第一三年第九号　一九三六(昭和一一)年九月一日

乖離性精神病の遺伝学的研究（二）　池見　猛　(1)―8
本邦優種運動の先覚について　八木　高次　9―14
産制運動の悪影響　エニツド、チヤールズ　15―17
国民体位向上の根幹は民族衛生の発展にあり　日本民族衛生協会　18―25
雑録　26
会友録　26

第一三年第一〇号　一九三六(昭和一一)年一〇月一日

癲癇の遺伝学的研究（1）　池見　猛　(1)―9
疼痛淫乱症（一）　鈴木　直光　10―19
鮮満北支旅情拾遺（一）　朝比奈一男　20―25
雑録　25―26
会友録　26

第一三年第一一号　一九三六(昭和一一)年一一月一日

癲癇の遺伝学的研究（2）　池見　猛　(1)―7
血液型と結婚問題　長尾　美知　8―11
疼痛淫乱症（二）　鈴木　直光　12―19
鮮満北支旅情拾遺（二）　朝比奈一男　20―26
雑録　26
会友録　26

第一三年第一二号　一九三六(昭和一一)年一二月一日

色の遺伝　池見　猛　(1)―4
夢　杉田　直樹　5―8
不良児の家族　鈴木賀一郎　9―13
狂信症　式場隆三郎　14―15
統計抄　16―17
抄訳（畜産学年報第三輯に依る）　18―20
我国固有の憲政確立　議会権限縮少の意なし　21
雑録　22

第一四年第一号　一九三七(昭和一二)年一月一日

口絵　近世遺伝学の開祖グレゴール・メンデル　(1)
皇紀二六〇〇年を奉祝紀念す可く家系譜の作成を望む　後藤　竜吉　2―4
体型と精神現象との関係（一）　池見　猛　5―14
産児の科学（一）　ハヴエロック、エリス　15―23
断種法議会へ　23
保護少年の心理的特徴（一）　松岡真太郎　24―29
雑録　30―32
会友録　32

第一四年第二号　一九三七(昭和一二)年二月一日

実験人類　(1)
体型と精神現象との関係（二）　池見　猛　2―11
産児の科学（二）　ハヴエロック、エリス　12―19
保護少年の心理的特徴（二）　松岡真太郎　20―23
雑録　24

保護少年の心理的特徴（三）　松岡真太郎　1―8
関西医師大会の決議事項　8
我国の結核死亡率と乳児死亡率　内閣統計局　9―11
新東京と性愛問題　安部　磯雄　12―14
恋愛の反逆的要素　秋田　雨雀　14―16
石川県蝶屋村における新結婚制度　17―20
「万国禁酒の革新」百年記念運動要項　21―22
雑録　22―24
会友録　24

第一四年第四号　一九三七(昭和一二)年四月一日

ゼネレーション　1
喫煙癖の遺伝　池見　猛　2―4
自殺地としての香川県　大西　義衛　5―11
少女発情期の研究　キッシュ　12―14
貞操問題二三　金子しげり　14―17

「少年法」全国化へ　17
雑録　18―24
会友録　24

第一四年第五号　一九三七(昭和一二)年五月一日

日本的優生　1
花柳病（性病）と其の予防　楠　太　2―7
文部省の教学局　7
神経質の遺伝学的研究（一）　池見　猛　8―15
名医大児童相談所成績統計　15
我国に於ける犯罪現象　内閣統計局　16―18
ヘレン・ケラー女史の来朝　19―20
雑纂　20―24
会友録　24

第一四年第六号　一九三七(昭和一二)年六月一日

時代の意義　1
「レ」線作用と優生関係　大高誠／小川重一　2―8
神経質の遺伝学的研究（二）　池見　猛　9―16
乳幼児の健康教育　斎藤　潔　17―19
雑纂　20―24
会友録　24

第一四年第七号　一九三七(昭和一二)年七月一日

優生学と後天教養　(1)
独逸系白鼠の染色体数に就て　池見　猛　2―4
女学生と「お行儀」　4
心形と個性　伊達乙一郎　5―9
青年学校教授及訓練要目　文部省　10―20
世界的博愛文化事業の偉人ロックフェラー翁逝く　21
雑纂　22―24

第一四年第八号　一九三七(昭和一二)年八月一日

人間的堕落　1
躁鬱病の遺伝学的研究（一）　池見　猛　2―6

米国出生日本人新生児身体発育状態の統計的観察　伊藤　久治　7―16
地方別に見たる出生率とその低下傾向　内閣統計局　17―19
第七回世界教育会議学校衛生部プログラム　20―21
雑纂　22―24

第一四年第九号　一九三七(昭和一二)年九月一日

事変と国民性　1
躁鬱病の遺伝学的研究（二）　池見　猛　2―13
支那の抗日団体　外務省情報局　14―17
断種法の展望（一）　18―20
国民精神総動員実施要綱決定　21
大阪府社会事業館開設　22―23
雑纂　23―24
会友録　24
口絵　伯林ブツフ精神病院　(1)
社会と国家　後藤　竜吉　2―15
精神乖離症の『クロナキシー』研究（一）　岸本　鎌一　16―18
断種法の展望（二）　19―23
雑纂　23―24
会友録　24

第一四年第一一号　一九三七(昭和一二)年一一月一日

口絵　新たに誕生した内閣参議諸公　(1)
精神乖離症の『クロナキシー』研究（二）　岸本　鎌一　2―9
双体双生児の切断手術　10
昭和十二年九月中大阪市伝染病患者総覧　10
天才と都鄙環境　11―16
民族衛生に就て　児玉　昌　(1)―6

第一四年第一〇号　一九三七(昭和一二)年一〇月一日

雑纂
会友録

第一四年第一二号　一九三七(昭和一二)年一二月一日

精神乖離症の『クロナキシー』研究（三）　岸本　鎌一　7―14
内地推計人口　15
栄養改善と共同炊事　佐伯　矩　16―20
会員録　20

第一五年第一号　一九三八（昭和一三）年一月一日

遺伝の考察（一）　川上　理一　(1)―11
男女の本質的差別に就て　杉田　直樹　12―13
新春漫談　朴　老生　14
女の世界　15
南米土産グワラナーの話　京野　蕃伯　16―21
天の囁き　21
雑纂　22
編輯後記　22
会友録　22

第一五年第二号　一九三八（昭和一三）年二月一日

遺伝の考察（二・完）　川上　理一　(1)―8
日本医学会戦時医学諸問題　講演者並に題目　8
母子保護法の検討　9―16
大阪府市女子教育強化策方針の検討　17
春宵漫談
健康長寿の譜　杉田　直樹　18―19
授業料　朴　老生　19
異国の話　20
編輯後記　20

第一五年第三号　一九三八（昭和一三）年三月一日

癩菌に関する最近研究の一瞥と感染問題　桜井　方策　(1)―6
大阪市の白米食排撃運動に就て　7―9
断種法制定準備に就て　エス・オー生　10―11
乳幼児の死亡率頓に下がる　11
米国に於ける断種実施概要　11
現下の時局に鑑み急速実施を要する保健対策　12―17
煙草の嫌いになる薬　17

荒鷲勇士の生理的苦痛　17
第十回日本医学会　第二十八回日本病理学会総会演題　18―23
不良少年の歯科学的研究　23―24
編輯後記　24

第一五年第四号　一九三八(昭和一三)年四月一日

不安神経症者のリビドー型　早坂長一郎　(1)―3
配偶者選択の考察　フリードレンデル　4―12
恋愛と結婚　皆川　美彦　13―17
東京市に於ける「育児通信」に就いて　17
反対論者の言　断種法反対論　牧野千代蔵　18―21
次代中堅たる青年に望む　22―23
禁酒禁煙導法週間　23・21
編輯余滴　24
会友録　24

第一五年第五号　一九三八(昭和一三)年五月一日

謎の自殺　大西　義衛　(1)―5
八紘一宇の精神　文部省教学部　6―8
楠公精神の昂揚　8
偉人の母　9―16
女の生き胆　田口　勝太　17―19
「断種法」本格的軌道に乗る　20
雑纂　21―23
編輯余滴　24

第一五年第六号　一九三八(昭和一三)年六月一日

口絵　第一回民族衛生協議会　(1)
白痴と去勢手術　児玉　昌　2―6
国民健康保険法の解説　厚生省保険院　7―12
愛国の源泉　13―15
偉人の母　16―18
酒害相談所の設置について　19
話のたね　20
編輯余滴　20
会友録　20

第一五年第七号　一九三八(昭和一三)年七月一日

『大地』に現はれた人口思想　南　亮三郎　(1)―7
北支の子供を観る　海後　宗臣　8―13
育児のコツ四ケ条　ダフォー　13
〝アメリカの〟賢母譚　14―19
断種法制定を繞りて　20―21
編輯余滴　22
会友録　22

第一五年第八号　一九三八(昭和一三)年八月一日

社会進歩と多衆の水準　杉山　栄　(1)―5
女は何故に芋を好むか　田口　勝太　6―8
資料
〝猿に近い男〟の検討　9―11
婚姻調査上の綜合判断　11―15
国民体力管理制度　厚生省体力局　15―16
昭和十二年の人口動態　内閣統計局　16―18
雑纂　19―20
編輯余滴　20

第一五年第九号　一九三八(昭和一三)年九月一日

断種に就ての所感　小峰　茂之　(1)―4
精神病に於ける断種問題　金子　準二　5―7
至誠の英雄勝海舟（一）　8―14
厚相諮問〝保護室の構造設備及管理に関する意見如何〟　15―16
日本人的信仰　17
親切から出た嘘の功用　17―18
活動は長寿の基　安逸は短命の因　18―19
仏蘭西における離婚と出生率　19―20
編輯後記　20
会友録　20

第一五年第一〇号　一九三八(昭和一三)年一〇月一日

北陸地方農村結核の現状　古屋　芳雄　(1)―4

至誠の英雄勝海舟（二）　陸軍省新聞班　5―11
戦場の実相と戦場心理　陸軍省新聞班　12―16
子供は子供らしく育てよ　17―18
出生と結婚数は前年より大増加　19
「日本人的信仰」に就て　19―20
会友録　20

第一五年第一一号　一九三八（昭和一三）年一一月一日

優生結婚か、断種か　池見　猛　(1)―13
北陸地方農村結核の現状（二）　古屋　芳雄　14―19
日本国民禁酒同盟の活躍　19―20
雑纂　20
会友録　20

第一五年第一二号　一九三八（昭和一三）年一二月一日

優生結婚か、断種か（二）　池見　猛　(1)―12
北陸地方農村結核の現状（三）　古屋　芳雄　13―17
内地人口統計（十月一日現在）　内閣統計局　18―19
雑纂　20
編輯余滴　20
会友録　20

第一六年第一号　一九三九（昭和一四）年一月一日

年頭所感　(1)
優生結婚か、断種か（三）　池見　猛　2―8
北陸地方農村結核の現状（四）　古屋　芳雄　9―12
優生断種法とは何か　民族衛生研究会　13―16
国立人口問題研究所の設立　16
時局と人口問題　谷口弥三郎　17―23
強豪一家　十人の仁王兄弟　23
雑纂　24
会友録　24

第一六年第二号　一九三九（昭和一四）年二月一日

断種法に関する私見　松原　久人　(1)―7
独逸に於ける多産奨励　7

恋愛の心理　小峰　茂之　8―13
栄養改善が精神異常児の発育に及ぼす影響に就て　森川　規矩　14―18
独逸断種法（遺伝病子孫防止法）の検討　19―25
雑纂　26―28
編輯余滴　28
会友録　28

第一六年第三号　一九三九（昭和一四）年三月一日

滝と精神病治療との関係　池見　猛　(1)―6
天才の育成養護が緊要である　長岡半太郎　7―12
民族優生保護法案　13―15
断種法案提案を繞る美はしきエピソード　15
〝臣民の道〟平沼首相の講演　16―18
独伊の多産奨励検討　19
雑纂　20

第一六年第四号　一九三九（昭和一四）年四月一日

古代に於ける癩と宗教観念　今谷逸之助　(1)―10
第卅八回日本精神神経学会総会　10
断種法の前途尚多難　11―12
花柳病予防法の改正　13―22
雑纂　22―24
会友録　24

第一六年第五号　一九三九（昭和一四）年五月一日

精神分裂性（早発性）痴呆の遺伝生物学　斎藤　玉男　(1)―3
戦時下の児童母性保護問題　木下　東作　3―6
遺伝学的人生観　川上　理一　7―9
国力伸張の基礎的要件　永井　浩　10―12
皇后陛下結核予防に畏き御令旨　13
本邦児童の保健食料に就て　石川日出鶴丸　14―15
雑纂　15―20
会友録　20

第一六年第六号　一九三九(昭和一四)年六月一日

時局下に於ける民族衛生問題　林　春雄　(1)―13
断種法座談会に於ける安部磯雄氏の談　14―18
ニコチン中毒に関する最近の研究　19―20
瓜の蔓に茄子は生らぬが南瓜の蔓に西瓜が生つた　20―21
出産率の激減と子孝行の頽廃　21―22
熟睡の五段階　22
南米でも余りに早い五ツでお母さん　22
雑纂　23
新刊紹介　24
会友録　24

第一六年第七号　一九三九(昭和一四)年七月一日

癩と遺伝　日戸　修一　(1)―10
独逸国に於ける保健政策　特に人口政策　ヘーデンカンプ　11―16
断種法に関する座談会　17―24
種族発展の基本法則　川村多実二　24―25
雑纂　26―28
日本母の会の活動　26―28
会友録　28

第一六年第八号　一九三九(昭和一四)年八月一日

人類の遺伝　駒井　卓　(1)―5
都市児童と国家の将来　戸田　正三　6―10
雑纂　11―22
注目すべき人口動態　11―13
人的資源拡充に要する基本調査　13―14
優生保護の画期的政策樹立　14―15
国民食糧の企画機関を設置し民族優生の研究を促進せよ　15―16

第一六年第九号　一九三九(昭和一四)年九月一日

生命を延ばすの法ありや　今　裕　(1)―4

舌の癩　田尻　敢　5－11
体力と国民生活　東　竜太郎　12－13
人口問題の研究に就て　後藤　竜吉　14－15
人間の生存　竹田　邦麿　15－18
近親結婚問題　18
不良家系と優良家系の調査に就て　春　秋　生　19－21
残滴一藁　21
会友録　21
From the Genetic Society of Japan.　22

第一六年第一〇号　一九三九(昭和一四)年一〇月一日

民族優生方策　厚　生　省　(1)－7
今日の人口問題　古屋　芳雄　8－13
或る青年医家へ　森田　竹次　14－20
『優生学の理論と実際』に就て　後藤　竜吉　21
ガルトンとメンデル　22
科学者の見た二百年後の生活　22

第一六年第一一号　一九三九(昭和一四)年一一月一日

優生道徳　長谷川如是閑　(1)－2
民族国策の諸問題（一）　古屋　芳雄　3－13
優生断種に就いて（一）　青木　延春　14－18
優生学的結婚問題　後藤　竜吉　19－21
日本人の一つの悪癖　春　秋　生　22－23
大村卿の足塚　23－24
第八回日本民族衛生学会　24
会友録　24

第一六年第一二号　一九三九(昭和一四)年一二月一日

民族国策の諸問題（二）　古屋　芳雄　(1)－10
優生断種に就いて（二）　青木　延春　11－14
禁酒運動雑感　竹田　邦麿　15－18
学校教育と結核　文　部　省　18－20

第一七年第一号　一九四〇(昭和一五)年一月一日

紀元二六〇〇年を迎ふ　厚生省　(1)
結核絶滅の方途　厚生省　2―5
喫煙の害　婦人ほど酷い　ブランド　5
民族衛生学綜合文献集（一）　池見猛　6―8
昨年の精神病学の動き　杉田直樹　9
精神科医の立場　金子準二　10―11
或る癩者の精神記録　森田竹次　12―19
海外便り　20
会友録　20

第一七年第二号　一九四〇(昭和一五)年二月一日

優良家系と劣弱血統の両調査に就て　後藤生　(1)―3
新内閣閣僚一覧表　2―3
国立遺伝研究所問題　後藤生　3
内地六大都市の真の人口自然増加率　水島治夫　4―11
人口統計ところどころ　越田久松　12―16
お願ひ！　日本国民禁酒同盟　17―18
大阪市の出産力調査に就て　18

第一七年第三号　一九四〇(昭和一五)年三月一日

綜合研究の実を！　小熊梓　(1)―4
遺伝研究所の設立を待望　春秋生　4
母乳礼讃　一色征　5―8
道徳の源泉だ！　春秋生　8
姓氏に依る国体明徴運動要項（一）　古谷栄一　9―16
民族衛生学綜合文献集（二）　池見猛　17―19
朝鮮医師、歯科医師、薬剤師試験　20
火口壁　20

第一七年第四号　一九四〇(昭和一五)年四月一日

『優生漫談』　阿部文夫　(1)―6

国立遺伝研究所設立の急務（一）　小熊　梓　7―10
姓氏に依る国体明徴運動要項（完）　古谷　栄一　11―17
民族衛生学綜合文献集（三）　池見　猛　18―19
雑録　20
会友録　20

第一七年第五号　一九四〇（昭和一五）年五月一日

国立遺伝研究所設立の急務（二）　小熊　梓　(1)―4
人類に於ける二三の遺伝形質の頻度に就て　尾崎安之助　5―8
節米に就いて　茶珍　俊夫　9―13
国民優生法　14―17
次代の国民の眼を護れ　高野　六郎　18
民族衛生学綜合文献集（四）　池見　猛　19―22
大阪市十ケ年の人口統計　23
雑録　24
編輯後記　24

第一七年第六号　一九四〇（昭和一五）年六月一日

巻頭　春秋生　(1)
遺伝学会を中心として　田中　義麿　2―10
『続優生漫談』　阿部　文夫　11―12
人類遺伝学の方法と成果　駒井　卓　13―17
国民優生法施行に　18―19
民族衛生学綜合文献集（五）　池見　猛　20―23
編輯余滴　24
会友録　24

第一七年第七号　一九四〇（昭和一五）年七月一日

続『優生漫談』（一）　阿部　文夫　(1)―2
人類遺伝学の方法と成果（二）　駒井　卓　3―8
二三の眼疾患の遺伝に就いて　人見　規　9―10
学校給食の実験　文部省　11―14
『優生漫談』　葉水山人　15―18
粧鏡台　18

民族衛生学綜合文献集（十八）　池見　猛　19―23
編輯余滴　24
会友録　24

第一七年第八号　一九四〇(昭和一五)年八月一日

続『優生漫談』(三)　阿部　文夫　(1)―2
遺伝と人生　田中　義麿　3―8
指紋一元説　川上　理一　9―10
国民優生法概説　厚生省予防局　11―16
乳幼児体位検診に就て　川島　清　17―18
民族衛生学綜合文献集（七）　池見　猛　19―23
雑録　24
編輯余滴　24
会友録　24
外米の本質とその炊き方　厚生省衛生局　6―8
民族衛生学綜合文献集（八）　池見　猛　9―12
日本優生学協会設立試案　13―18
雑録　19―20
会友録　20

第一七年第九号　一九四〇(昭和一五)年九月一日

続『優生漫談』(四)　阿部　文夫　(1)―3
土井正徳氏『人間学序説』目次！　4―5
続『優生漫談』(五)　阿部　文夫　(1)―3
結婚の新体制　4
出産の保護奨励　民族衛生研究会懇談　5―6
戦時下の国勢調査　7―8
遺伝と環境　土井　正徳　9―12
音楽才能のテストに就て　飯沼　竜遠　13―14
断種の理論と国民優生法の解説　池見　猛　15―17
ルネサンス精神と現代　平塚　博　18―19
民族衛生学綜合文献集（九）　池見　猛　20―23
雑録　24

第一七年第一〇号　一九四〇(昭和一五)年一〇月一日

第一七年第一一号　一九四〇(昭和一五)年一一月一日

続『優生漫談』(一八)　阿部　文夫　(1)―2
精神医学より観たる自然性　土井　正徳　3―7
国民体力法　厚生省体力局　8―10
優良多子家庭表彰　10
日本禁酒史略年表　日本国民禁酒同盟　11―15
ライト著「人口と平和」　北岡　寿逸　16―19
手術範囲を拡げよ　19
戦時酒造禁止に関する建議　日本国民禁酒同盟　20―21
民族衛生学綜合文献集(十)　池見　猛　22―23
雑録　24
会友録　24

第一七年第一二号　一九四〇(昭和一五)年一二月一日

続『優生漫談』(七)　阿部　文夫　(1)―3
精神医学より観たる自然性　土井　正徳　4―6
多産子女と優生学　川上　理一　7―9
実地臨牀医家にお願ひ　9
人口問題研究所官制　10―13
子孫のために　巴陵　宣祐　14―15
優生結婚相談所　16―17
民族衛生学綜合文献集(十一)　池見　猛　18―22
雑録　23―24
会友録　24
余滴　24

第一八年第一号　一九四一(昭和一六)年一月一日

年頭に際して　(1)
最近に於ける精神病治療法の進歩　山本　友香　2―6
精神鑑定例に就て　引田　一雄　7―13
国民優生法問答(一)　14―16
精神医学より観たる自然性　土井　正徳　17―18
優生結婚相談所　安井　洋　19―20
多産の力は粗食?　内野　滋　21
民族衛生学綜合文献集(十二)　池見　猛　22―23
雑録　24

会友録　24

第一八年第二号　一九四一（昭和一六）年二月一日

事変下の人口問題　人口問題研究所　(1)―7
人口問題の神髄　北岡　寿逸　8―11
国民優生法問答（二）　12―14
精神医学より観たる自然性　土井　正徳　15―16
民族衛生学綜合文献集（十三）　池見　猛　17―22
雑録　23―24

第一八年第三号　一九四一（昭和一六）年三月一日

遺伝研究所と遺伝調査　安井　哲　(1)―3
わが「スポーツ」論　杉田　直樹　3
人口一億を目指す　人口政策確立要綱　4―10
熱帯生活と邦人の体質　富士　貞吉　11―13
正しい血統！　日戸　修一　14
国民優生法問答（三）　15―16
優生結婚相談所　安井　洋　17―18・10
民族衛生学綜合文献集（十四）　池見　猛　19―24
雑録　24

第一八年第四号　一九四一（昭和一六）年四月一日

本邦精神病疾患特に分裂病遺伝調査の一端とその感想　安井　哲　(1)―4
堕胎防止を国民運動へ　北岡　寿逸　5
国民優生法問答（四）　6―7
日華人結婚の是非！　8
人口問題をどうするか　企画院　9―20
民族衛生学綜合文献集（十五）　池見　猛　21―22
雑録　23―24
余滴　24

第一八年第五号　一九四一（昭和一六）年五月一日

巻頭言　(1)
輓近遺伝学の進歩　駒井　卓　2―3
檄！　山本　英輔　4

我国の人口動態　後藤生　5―9
日本人の体質（一）　日戸修一　10―12
国民優生法問答（五）　13―14
傷兵の結核治療　軍事保護院　15―17
民族衛生学綜合文献集（十六）　池見猛　18―22
雑録　23―24

第一八年第六号　一九四一（昭和一六）年六月一日

巻頭言　(1)
血族結婚と精神分裂病の遺伝　津川武一　2―5
日本人の体質（二）　日戸修一　6―12
国民優生法問答（完）　13―14
厚生省の優生事業　国民優生聯盟　15―18
優良多子家庭の表彰について　厚生省社会局　19―21
民族衛生学綜合文献集（十七）　池見猛　22―23
雑録　24

第一八年第七号　一九四一（昭和一六）年七月一日

巻頭言　(1)
国民優生法解説　厚生省　2―7
救荒動植物の調査　7
国民優生法施行令　厚生省　8―9
国民優生法施行規則　厚生省　10―12
優生結婚資金貸付産児奨励金交付　国民優生聯盟　13―14
節米と栄養　厚生省　15―16
優生結婚相談所　16
節米と代用食　17―19
余瀝　19
民族衛生学綜合文献集（十八）　池見猛　20―23
雑録　24

第一八年第八号　一九四一（昭和一六）年八月一日

巻頭言　(1)
優生法施行並優生手術申請書其他参考様式一覧　後藤生　2―9
大陸訓　見波定治　10―12

不良・犯罪少年の医学的分類　城　竜吉　13―17
食糧に就て　後藤生　18―19
諸学者の研究（一）　池見猛　20―23
民族衛生学綜合文献集（十九）　24
雑録　12

第一八年第九号　一九四一（昭和一六）年九月一日

巻頭言　(1)
第一区府県内に於ける患者の減少状況に就て　林芳信　2―3
夫婦の出産力　人口問題研究所　4―12
新刊紹介　12
社会医学的に観たる結核と犯罪　石川光昭　13―15
諸学者の研究（二）　後藤生　16―19
民族衛生学綜合文献集（二十）　池見猛　20―23
雑録　24

第一八年第一〇号　一九四一（昭和一六）年一〇月一日

巻頭言　(1)
人類の遺伝　駒井卓　2―6
社会医学的に観たる結核と犯罪（二）　石川光昭　7―9
日本の子等へ　P、リシャル　9
酒は興亜の敵　大平得三　10―11
優生結婚表彰？　11
国民優生法の実施について（一）　青木延春　12―16
永久に記録さるべきもの　後藤生　17―19
民族衛生学綜合文献集（二十一）　池見猛　20―23
雑録　24

第一八年第一一号　一九四一（昭和一六）年一一月一日

巻頭言　(1)―2
現代の〝生命観〟　巴陵宣祐　2―5
育児標準表発表　厚生省　6
国民優生法の実施について（二）　青木延春　7―12
民族科学協会成立延ぶ　後藤生　13―16
皇学道場の本山　A記者　17―18

民族衛生学綜合文献集（二十二）　池見　猛　19―22
雑録　23―24

第一八年第一二号　一九四一(昭和一六)年一二月一日

巻頭言　(1)
人口増殖の問題　阿部　文夫　2―4
国民優生法の実施について（三）　青木　延春　5―10
日本民族衛生協会第十回学術大会　11―12
癩院高唱（一）　朝倉　豊二　12
マルサス人口論の誤謬　岡本　利吉　13―15
子宝の秘訣は適齢結婚　15
『酒・煙草の内面暴露』より　岡田　道一　16―18
癩菌の動物接種成功　18
伝染か体質か　18
民族衛生学綜合文献集（二十三）　池見　猛　19―22
雑録　23―24

第一九年第一号　一九四二(昭和一七)年一月一日

巻頭言　(1)
優生法の実際問題　杉田　直樹　2―5
国民優生法の実施について（四）　青木　延春　6―10
日本の食糧問題（一）　冬夏　学人　11―14
『酒・煙草の内面暴露』より　岡田　道一　15―16
民族衛生学綜合文献集（二十四）　池見　猛　18―21
平和な正月帖　22―23
優良家系の御報告を望む　23
雑録　24

第一九年第二号　一九四二(昭和一七)年二月一日

巻頭言　(1)
カロリー学説で釣る飲酒奨励論　永井　潜　2―3
一致体育振興へ　3
自信なき優生手術には優生法又は刑法の罰則　4―6
俳句一席　小沢　曲水　6
神秘な遺伝研究　岸本　鎌一　7
朝鮮医師、歯科医師薬剤師試験　8
『酒・煙草の内面暴露』より　岡田　道一　9

日本の食糧問題（二）　冬夏　学人　10―14
『科学は語る』！　14―16
民族衛生学綜合文献集（二十五）　池見　猛　17―20
『赤ちゃん手帳』　21
南方共栄の指導人物を　21
雑録　22

第一九年第三号　一九四二(昭和一七)年三月一日

大東亜建設譜！　(1)
婦人淋疾の特殊性　安藤　画一　2―5・18
人口状態憂ふる要なし　6
大東亜建設審議会創設　7―8
南方開発人的資源　9―11
肉や卵は不必要　山崎　春三　11―12
栄養はかうして　12
日本の食糧問題（三）　冬夏　学人　13―16
『酒・煙草の内面暴露』より　岡田　道一　17―18
南方開発指導者の資格？　19
民族衛生学綜合文献集（二十六）　池見　猛　20―23
雑録　24

第一九年第四号　一九四二(昭和一七)年四月一日

英米思想の残渣　(1)
日本人の体質に就て　足立文太郎　2―3
健全なる結婚指導に関する件　厚生省人口局　4―6
米人記者世紀の驚嘆　6
大東亜保健院の設立　深山　杲　7
出た『お母さん訓』　文部省　8―9
時局下に於ける食糧問題の対策（一）　日本医師会　11―13
日本の食糧問題（四）　冬夏　学人　14―16
民族の結婚　早田　正雄　17―19
大東亜戦争完遂翼賛選挙貫徹当選標語　19
民族衛生学綜合文献集（二十七）　池見　猛　20―23
雑録　24

第一九年第五号　一九四二(昭和一七)年五月一日

都市膨張の限度！　(1)
精神薄弱と社会適応性　杉田　直樹　2―6
新しき女性教育　白木　正博　6
常用漢字一一二字　7―10
次の大東亜を確立する青少年　10
時局下に於ける食糧問題の対策（二）　日本医師会　11―14
『酒・煙草の内面暴露』より　岡田　道一　15―16
五月常会結婚月　16
日本の食糧問題（五）　冬夏　学人　17―19
民族衛生学綜合文献集（二十八）　池見　猛　20―23
雑録　24

第一九年第六号　一九四二(昭和一七)年六月一日

各人尊重！　(1)
日本民族の構成と混血問題（一）　水島　治夫　2―7
健民運動の徹底　厚生省　8―12
五つ児誕生の先陣争ひ　フランスに捷利のうぶ声　12
建設の原動力は人口増強　館　稔　13―15
日本の食糧問題（六）　冬夏　学人　16―17
子は国の宝　厚生省　18
晩婚は大都市の恥　19
文部省直轄綜合民族研究所　19
民族衛生学綜合文献集（二十九）　池見　猛　20―23
雑録　24

第一九年第七号　一九四二(昭和一七)年七月一日

結婚と生活！　(1)
日本民族の構成と混血問題（二）　水島　治夫　2―6・9
指導者としての皇民を強健に錬成　7―9
国民体力管理制度　厚生省　10―16
〝戦うドイツ〟の人口政策へ凱歌　16
南方への日本人の適応性　小山　栄三　17
日本の食糧問題（完）　冬夏　学人　18―19
民族衛生学綜合文献集（三十）　池見　猛　20―23
雑録　24

第一九年第八号　一九四二(昭和一七)年八月一日

日本的性格！　池見　猛　2―6
民族科学とはなにか　(1)
戦時下に於ける民族力増強問題　西野　陸夫　7―13
汗と温度に関する文献
発汗と皮膚電導度との関係　増井　市郎　14
人体発汗の部位的関係　鈴木　利三　14
人体皮膚発疱内容塩化物含量の発汗による変動　鈴木　利三　14
人体汗腺及び皮膚に於ける塩化物の組織化学的研究　高木俊蔵／御供武　14―15
高温環境下の筋労作の恢復過程に就て　川端五郎／井上章／古沢一夫　15
汗腺周囲組織塩化物量の発汗に依る変動に就て　加藤参次郎　15
朝鮮医師、歯科医師、薬剤師試験　15
厚生集録　16
結婚十則　16
妊産婦手帳十三日より実施　16―17
出産祝で利子軽く　17
早婚奨励と斡旋　17―18
町内有力者が出雲の神様　18
熊本県の母子保護会　18―19
民族衛生学綜合文献集（三十一）　池見　猛　20―23
雑録　24

第一九年第九号　一九四二(昭和一七)年九月一日

錬成の秋！　(1)
輓近遺伝学の趨勢（一）　川上　理一　2―8
母性保護の前進と妊婦届出制の意義　瀬木　三雄　9―18
東亜共栄圏内に於ける癩患者数並に其の施設　林　芳信　19―21
職業寿に関する研究　近藤　庸人　21
民族衛生学綜合文献集（三十二）　池見　猛　22―25
雑録　26

第一九年第一〇号　一九四二(昭和一七)年一〇月一日

日本人の軽薄面　後藤生　(1)―3
血液型の意義　古畑種基　4―7
輓近遺伝学の趨勢(二)　川上理一　8―13
優生法の悪用に厳しい法度　14
国民優生法一部改正強化　14
国民優生法施行規則中一部改正　14
南方へ結婚相談所　安井洋　16
民族衛生学綜合文献集(三十三)　池見猛　17―22
雑録　23―24

第一九年第一一号　一九四二(昭和一七)年一一月一日

本誌の使命！　(1)
大東亜の建設と民族科学の使命　宇垣一成　2―7
優生手術実施状況　厚生省　8―10
赤チヤンの体力検査　厚生省　11―13
妊産婦の手帳制　厚生省　14―17
中央協力会議の議案　18―20
優秀児系譜　大阪市の調査成績　20―21
民族衛生学綜合文献集(三十四)　池見猛　22―25
雑録　26―27

第一九年第一二号　一九四二(昭和一七)年一二月一日

本誌の使命！　(1)
国民優生法施行規則一部改正について　青木延春　2―3・19
優生法と産婦人科学　瀬木三雄　4―9
優生学上より見たる早婚問題(一)　日戸修一　10―15
戦傷者の結婚問題　16―19
民族衛生学綜合文献集(三十五)　池見猛　20―23
自由に作れる野菜の新品種　24

第二〇年第一号　一九四三(昭和一八)年一月一日

賀正　(1)
優生学上より見たる早婚問題(二)　日戸修一　2―10
満州国人口統計　満洲国臨時国勢調査事務局　11―13

愛国百人一首　大東亜省　14―17
興南錬成院の要綱　19
人口問題全国協議会　20―23
民族衛生学綜合文献集（三十六）　池見　猛　24―27
雑録　28

第二〇年第二号　一九四三（昭和一八）年二月一日

本誌の使命！　(1)
遺伝と神経衰弱　斎藤　玉男　2―6
近視と遺伝　石原　忍　7
刷新さるべき厚生行政　8―9
完勝か完敗〝全滅〟か！　冬夏　学人　11―14
〝鰛〟礼讃！　春秋　生　15
民族衛生学綜合文献集（三十七）　池見　猛　16―19
南方共栄圏民族対策に就き　20
雑録　20

第二〇年第三号　一九四三（昭和一八）年三月一日

廃刊す！　後藤　竜吉　(1)
強健なる母体の養成　八木日出雄　2―6・14
母子保護の重要性　田口英太郎　7―8
遺伝健康と社会的隆替　ルンドボルゲ・述／佐藤正・訳　9―14
乳児栄養の国家管理　吉松　駿一　15―16
混血問題　谷口　虎年　17―19
聖戦完勝に先づ結婚　21―23
民族衛生学綜合文献集（三十八）　池見　猛　24―27
雑録　28

第二〇年第四号　一九四三（昭和一八）年四月一日

余瀝！　(1)
優生学的二、三の問題！　後藤　竜吉　2―5・8
南方諸民族の死亡率　浦上　英男　6―8
大東亜共栄圏の衣食住　高野　六郎　9―10
寝小便の矯正　池田　千年　11―14
民族衛生学綜合文献集（三十九）　池見　猛　15―18
雑録　19

『優生學』執筆者索引

《あ》

青木大勇 9-2-9
青木延春 16-11-14, 16-12-11, 18-10-12, 18-11-7, 18-12-5, 19-1-6, 19-12-2
明石九一 5-5-10
赤松亦太郎 1-2-7
秋田雨雀 14-3-14
浅井恵倫 8-2-14, 8-3-7
朝倉豊二 18-12-12
浅田　一 5-4-7, 5-6-15, 5-7-17, 6-3-7, 6-4-7, 7-9-18, 7-12-21, 8-2-9, 9-6-20
浅野成俊 2-10-13, 3-5-9
朝比奈一男 11-1-8, 13-10-20, 13-11-20
足利陸朗 10-7-9
東　政子 8-3-27
東竜太郎 6-6-19, 16-9-12
足立文太郎 3-3-5, 6-1-9, 19-4-2
足立善之亮 10-1-25
吾妻俊夫 12-7-16
"アドラー" 2-3-23
"アナトール" 4-8-49
安部磯雄 5-1-23, 8-3-21, 14-3-12
安倍志郎 12-12-15
阿部文夫 7-7-17, 17-4-(1), 17-6-11, 17-7-(1), 17-8-(1), 17-9-(1), 17-10-(1), 17-11-(1), 17-12-(1), 18-12-2
天木露生 8-1-27, 8-2-32
雨宮保衛 9-12-29, 11-6-22
荒木文吾 13-7-16
安藤画一 9-1-8, 19-3-2
安藤守元 11-1-11, 11-2-10
井伊義男 7-11-30
飯島　真 5-4-28
飯沼竜遠 17-10-13
飯野富雄 12-7-19
池田林儀 3-9-20
池田千年 11-2-5, 20-4-11
池見　猛 11-2-2, 11-3-2, 11-4-2, 12-7-4, 12-7-5, 12-8-(1), 13-3-10, 13-5-16, 13-6-6, 13-7-7, 13-8-(1), 13-9-(1), 13-10-(1), 13-11-(1), 13-12-(1), 14-1-5, 14-2-2, 14-4-2, 14-5-8, 14-6-9, 14-7-2, 14-8-2, 14-9-2, 15-11-(1), 15-12-(1), 16-1-2, 16-3-(1), 17-1-6, 17-3-17, 17-4-18, 17-5-19, 17-6-20, 17-7-19, 17-8-19, 17-9-9, 17-10-15, 17-10-20, 17-11-22, 17-12-18, 18-1-22, 18-2-17, 18-3-19, 18-4-21, 18-5-18, 18-6-22, 18-7-20, 18-8-20, 18-9-20, 18-10-20, 18-11-19, 18-12-19, 19-1-18, 19-2-17, 19-3-20, 19-4-20, 19-5-20, 19-6-20, 19-7-20, 19-8-2, 19-8-20, 19-9-22, 19-10-17, 19-11-22, 19-12-20, 20-1-24, 20-2-16, 20-3-24, 20-4-15
石川七五三二 8-11-2
石川千代松 4-3-19, 5-1-2, 7-1-19, 7-2-19, 8-1-31, 8-3-15, 9-6-20, 11-5-2, 11-12-5
石川日出鶴丸 16-5-14
石川光昭 8-4-17, 18-9-13, 18-10-7
石崎有信 9-5-18
石田玄圃 4-3-18
石原　忍 20-2-7
一色　征 17-3-5
井手政雄 8-6-2
伊藤栄蔵 8-4-改2
伊藤一隆 3-4-11
伊藤久秋 8-2-2
伊藤久治 14-8-7
伊藤六慶 5-6-28
稲垣乙丙 5-12-23
稲田竜吉 5-10-29, 5-12-29, 6-1-31
井上　章 19-8-15
井上一次 9-3-27
井上秀夫 6-6-10

井野辺天籟 3-8-19
伊原安固 12-9-5
今井　孝 3-3-23
今谷逸之助 16-4-(1)
入江英雄 9-12-13
岩崎盈子 8-8-16
岩崎重三 5-6-23, 5-9-7
ヴエイル，アーリ 8-1-15
ヴェステンホーフェル 4-12-19
上田昌之 13-2-17
ウエベル，ピア 9-2-30, 9-3-26
植松七九郎 6-3-10, 6-4-11
上村行彰 4-7-37
宇垣一成 19-11-2
潮恵之輔 1-1-13
氏原佐蔵 2-4-10
内田勇三郎 12-9-13
内野　滋 18-1-21
うどんげの花 2-2-47
梅原信正 2-7-43
宇山安夫 12-12-5
浦上英男 20-4-6
ヴルウインク，ジヨン 7-11-7
ウ ル フ 7-5-7
海野幸徳 1-10-21, 2-6-7, 2-8-7, 2-9-7, 2-10-7, 2-11-7
A 記 者→記　者
江上利生 12-10-(1)
エス・オー生 15-3-10
エスペランド法王 2-7-28
X Y Z 2-6-23, 2-7-33, 2-8-33, 2-9-33, 2-10-33, 3-2-20, 3-3-25, 3-4-26, 3-5-21, 3-9-23, 3-10-25, 3-11-19, 4-1-25, 4-11-19, 5-2-9, 5-3-7, 5-4-19, 5-5-7, 5-9-23, 5-12-21
N K 生 8-3-19
M E 生 5-12-9
エリス,ハヴエロック 14-1-15, 14-2-12
生地　憲 8-1-33
大石貞夫 8-8-19, 8-9-22, 8-10-36, 8-11-31
大浦孝秋 3-1-25, 3-8-12, 4-3-23, 6-5-22, 6-6-22, 6-7-19, 6-8-19, 6-11-19, 7-2-22, 7-3-22
大阪府医師会 5-6-11
大沢一六 12-10-10
大島　広 3-3-13
大島文治郎 4-3-49
太田　顕 4-3-37
太田外正 9-5-14
太田秀穂 10-6-19, 11-1-5
大高　誠 14-6-2
大竹憲太郎 4-3-20
太田原豊一 10-2-3
大坪潔己 13-6-14
大西清治 13-3-19
大西義衛 9-6-15, 9-7-36, 10-6-11, 11-8-(1), 12-5-(1), 13-4-14, 14-4-5, 15-5-(1)
大庭士郎（大庭） 5-2-26, 8-8-2
大林道子 7-4-7, 7-5-22
大平頼母 8-4-23
大平得三 18-10-10
丘浅次郎 1-12-33
岡　啓二 4-11-9
岡垣松太郎 10-7-23
小笠原省三 11-4-19
岡田啓介 12-1-(1)
岡田道一 13-4-27, 18-12-16, 19-1-15, 19-2-9, 19-3-17, 19-5-15
岡本利吉 18-12-13
小川喜代志 3-10-19
小川重一 14-6-2
小川原亮 10-1-22
奥源之助 8-12-2
億川攝三 3-6-24
奥田三郎 12-6-(1)
小口忠太 8-1-2, 8-3-29
小熊虎之助 7-4-9
小熊　桿 17-3-(1), 17-4-7, 17-5-(1)
奥村秀基 13-1-17
尾崎清次 5-7-26
尾崎安之助 17-5-5
小沢曲水 19-2-6
越智真逸 6-1-2

小野清一郎 7-11-2, 7-12-14

《か》

海後宗臣 15-7-8
貝田好美 6-11-23, 7-1-25, 9-1-13, 9-2-17
外務省情報局 4-1-19, 4-2-9, 4-3-25, 4-5-13, 14-9-14
賀川豊彦 5-1-25
加島 斌 1-4-23, 1-5-9
柏原長弘 6-2-2, 7-4-25
片瀬 淡 1-10-22, 5-4-27
片山国嘉 4-3-41, 10-7-12
片山里一 6-10-13, 6-11-13, 6-12-13, 7-1-13
加藤寛二郎 12-2-14, 12-3-(1), 12-4-(1), 12-5-13
加藤参次郎 19-8-15
加藤時也 7-12-24
金子しげり 13-1-14, 14-4-14
金子準二 3-1-13, 7-4-22, 8-12-12, 9-6-9, 10-1-16, 13-2-13, 15-9-5, 17-1-10
金子直一 3-9-15, 4-3-46, 4-10-13, 5-1-47
壁島為三 8-8-13
神近市子 9-8-25
ガリカン, ウオルター 6-4-19, 6-5-19
河合峻策 6-3-22
川上貫一 7-9-14
河上 肇 5-1-27
川上理一 3-5-5, 3-6-5, 3-7-5, 3-8-5, 3-9-7, 3-10-7, 3-11-7, 4-1-9, 4-2-16, 4-4-9, 8-6-6, 9-6-24, 15-1-(1), 15-2-(1), 16-5-7, 17-8-9, 17-12-7, 19-9-2, 19-10-8
河口栄作 1-1-25
川島 清 17-8-17
川島長雄 10-11-13
川端五郎 19-8-15
川人定男 9-9-18, 10-11-3, 11-9-(1), 11-10-(1)
川村多実二 16-7-24
河本禎助 9-11-39
ガンツ・ヌル生 1-7-29
カントロヴイツ 8-1-19
菅野寛一 8-8-24
菅野弘一 1-6-29
偽為痴老人 2-9-13
企 画 院 18-4-9
岸 孝義 9-1-24
岸 達二 12-4-17
岸本鎌一 14-10-16, 14-11-2, 14-12-7, 19-2-7
記 者（A記者） 4-3-6, 4-3-16, 4-4-12, 4-4-29, 4-4-31, 4-10-12, 4-10-33, 4-12-29, 5-1-63, 5-2-43, 5-3-22, 5-6-40, 5-8-27, 5-9-21, 18-11-17
喜多壮一郎 3-3-11, 3-6-21, 3-9-26
北 豊吉 5-11-24
北岡寿逸 17-11-16, 18-2-8, 18-4-5
北川文雄 4-11-15, 4-12-9
喜多村かず子 4-4-22
北村隆光 8-6-9
北谷博玄 11-1-17, 11-2-15
北脇雅男 13-4-(1), 13-5-4
キツシユ 14-4-12
木下東作 16-5-3
木村荘吉 1-2-33, 1-4-25
木室兼吉 2-8-43, 2-9-16
逆 転 生 7-3-17
キヤンベル,C・G 12-12-7
京都府医師会 5-7-9
京野蕃伯 15-1-16
清野謙次 3-4-19, 6-8-7
毀誉褒貶生 5-2-33
切 抜 帳 4-11-19
桐原真一 2-9-41, 2-11-13
禁酒禁煙遵法運動中央委員会 10-5-17
草谷千文 4-7-40
草刈春逸 10-6-9
楠 太 14-5-2
国友 鼎 8-1-32
呉 秀三 9-8-2
グレー,イー・シー 5-1-41
クレツスウエル,ロバート 9-6-44
呉羽新五郎 3-4-16
黒田啓次 8-9-24, 9-6-20, 10-10-17

黒田鶴治 5-7-14
黒田松雄 6-8-21, 6-9-13
桑 原 生 5-3-28
軍事保護院 18-5-15
ケイー,エレン 4-9-19
K 生 5-2-43
K S 6-9-20
KKK生 1-7-21
高 碧 山 12-12-9, 13-7-21, 13-8-23
香 涯 生〔田中祐吉〕 1-2-18
厚 生 省 16-10-(1), 17-1-2, 18-7-2, 18-7-8, 18-7-10, 18-7-15, 18-11-6, 19-6-8, 19-6-18, 19-7-10, 19-11-11, 19-11-14
厚生省衛生局 17-9-6
厚生省社会局 18-6-19
厚生省人口局 19-4-4
厚生省体力局 15-8-15, 17-11-8
厚生省保険院 15-6-7
厚生省予防局 17-8-11
河野重信 9-4-6
高良武久 9-6-6
古往今来生 5-8-15
ゴールトン 4-11-30
黒旋風生 6-4-22
国民優生聯盟 18-6-15, 18-7-13
国民結婚補導会 2-6-48
小酒井不木 8-9-34
越 路 生 4-11-25
越田久松 17-2-12
小杉イネ（小杉イ子、小杉イネ子） 4-8-45, 5-2-32, 6-7-23
古瀬安俊 1-1-14, 2-2-33, 2-11-15, 2-12-21, 3-1-20
小関光尚 4-7-13, 7-6-10, 9-7-38, 9-8-7, 9-9-5
小 僧 1-4-34
小平権一 12-9-11
児玉 昌 11-2-8, 12-6-(1), 13-3-16, 14-12-(1), 15-6-2
コックス,ハーロット 6-12-19
ゴッダード,ヘンリー・エッチ 1-11-9
五斗欽吾 9-6-2
後藤朝太郎 6-11-21
後藤 直 7-4-16
後藤竜吉（R.Goto、後藤生、壺堂生） 2-2-6, 3-2-17, 3-3-11, 3-4-15, 3-7-22, 3-8-22, 3-9-27, 3-10-24, 3-10-26, 3-11-25, 4-1-33, 4-4-29, 4-6-6, 4-6-32, 4-7-6, 4-7-41, 4-8-6, 4-9-6, 4-10-6, 4-11-2, 5-1-9, 5-1-36, 5-1-53, 5-1-66, 5-2-3, 5-2-35, 5-3-2, 5-3-33, 5-4-2, 5-4-31, 5-8-29, 6-5-7, 6-6-20, 6-9-2, 6-10-2, 6-11-2, 6-12-2, 7-1-2, 7-2-2, 7-3-2, 7-4-2, 7-5-2, 7-7-2, 9-6-53, 10-9-21, 10-10-23, 10-11-25, 10-12-23, 11-1-23, 11-2-23, 11-4-27, 11-5-21, 12-1-23, 12-2-20, 12-3-20, 12-4-20, 12-5-19, 14-1-2, 14-10-2, 16-9-14, 16-10-21, 16-11-19, 17-2-(1), 17-2-3, 18-5-5, 18-8-2, 18-8-18, 18-9-16, 18-10-17, 18-11-13, 19-10-(1), 20-3-(1), 20-4-2
小鳥井譲 10-12-18
小沼十寸穂 13-4-8, 13-5-12
小橋実之助 7-8-30
小林宗斎 4-12-19
駒井 卓 4-9-11, 5-2-8, 16-8-(1), 17-6-13, 17-7-3, 18-5-2, 18-10-2
駒屋銀治 8-2-18
小南又一郎 3-2-9, 4-1-39
小峰茂之 11-12-(1), 15-9-(1), 16-2-8
小村 直 1-3-23
古屋芳雄 6-12-7, 7-1-7, 7-8-2, 8-1-30, 15-10-(1), 15-11-14, 15-12-13, 16-1-9, 16-10-8, 16-11-3, 16-12-(1)
小山栄三 19-7-17
小山 隆 12-7-13
小山亮清 6-9-19, 8-1-5
今 裕 16-9-(1)
コンクリン,イー・ジー 3-3-13
近藤重好 9-2-21
近藤忠雄 11-3-26
近藤庸人 19-9-21

《さ》

サーベル生 4-3-36
佐伯　矩 14-12-16
斉藤一男 12-2-(1)
斎藤　潔 14-6-17
斎藤玉男 16-5-(1), 20-2-2
斎藤常之助 10-6-5
斎藤平吉 10-8-10
三枝直哉 1-7-15
酒井修一 10-7-23
酒井幹夫 7-3-13
榊原良蔵 12-3-13
阪谷芳郎 7-2-13
桜井方策 15-3-(1)
左座金蔵 9-9-2, 13-3-(1)
佐々木愛 7-12-17
佐々木進 12-7-18, 12-7-19
佐多芳久 9-3-31
佐藤七五郎 7-7-27, 7-9-23, 7-11-18, 7-12-26
佐藤　正 1-3-29, 20-3-9
佐藤恒二 1-8-26, 1-9-18, 1-10-16
佐藤俊三 2-12-15, 4-3-29, 4-7-27, 5-2-17, 9-7-6, 9-12-16, 10-1-2, 10-2-43
佐藤隆太郎 2-3-26, 3-2-25
佐野甚七 9-10-18, 9-11-25
佐野文五（佐野） 1-11-9, 1-12-7, 1-12-25, 2-2-7, 2-3-7, 2-4-7, 2-5-15
サラトナイ 6-1-21
三田谷啓 2-7-23, 4-2-13, 7-2-10, 9-7-37
シームリス,ケイ 5-11-23
志賀　潔 2-5-17, 6-7-10
式場隆三郎 7-8-23, 13-12-14
篠田鉱造 12-1-21
柴田　保 7-9-2
柴山　慶 8-5-改2
島内八郎 7-9-30
島村保穂 4-7-17
下田吉人 9-6-36, 9-7-27
下村海南（下村　宏） 4-3-45, 4-4-19, 8-1-22
社会局 11-9-30
春秋生 1-1-16, 1-3-22, 1-4-5, 1-5-5, 1-5-29, 1-8-21, 1-11-（7）, 2-2-30, 2-3-30, 2-4-9, 2-6-37, 2-7-7, 2-8-21, 2-11-27, 2-12-30, 3-1-27, 3-3-28, 3-4-9, 3-8-27, 3-9-31, 3-10-10, 3-10-14, 3-11-10, 4-2-25, 4-4-6, 4-5-26, 4-6-30, 4-12-12, 5-3-16, 5-5-2, 5-6-5, 5-7-2, 5-8-2, 5-9-2, 5-10-2, 5-11-2, 5-12-2, 6-3-2, 6-4-2, 6-5-2, 6-6-2, 6-7-2, 6-8-2, 11-11-12, 16-9-19, 16-11-22, 17-3-4, 17-3-8, 17-6-(1), 20-2-15
ショウ,マーク 3-4-11
城　竜吉 18-8-13
松　翁 6-5-13
荘司秋次郎 3-10-15
昭和モガ女 5-7-28
白井紅白〔白井恒三郎〕 3-3-18, 4-7-39, 4-11-30, 5-2-31, 5-3-27, 8-4-27, 8-6-13, 8-11-39, 9-2-31, 9-4-23, 9-5-28, 9-6-12, 9-8-38, 9-10-28, 9-12-11, 10-4-24, 10-6-29
白井貞次郎 7-11-13
白木正博 19-5-6
白百合愛雄 6-2-21
人口問題研究所 18-2-(1), 18-9-4
進藤　赳 8-7-改3
進藤篤一 2-2-13, 5-9-15, 5-10-15, 5-11-29, 5-12-15, 6-1-15, 6-2-27, 6-3-27, 6-4-27, 6-5-27
新堀哲岳 9-4-15
新名常造 6-1-24, 6-2-13
酔遠歌客生 4-4-13
杉浦武雄 3-5-19
杉岡正夫 13-4-19
杉田直樹 4-1-13, 5-10-26, 6-3-13, 7-6-21, 7-10-22, 8-1-31, 8-2-5, 9-12-31, 13-12-5, 15-1-12, 15-2-18, 17-1-9, 18-3-3, 19-1-2, 19-5-2
杉本良一 12-7-17

杉森孝次郎 1-1-2, 1-2-8
杉山　栄 15-8-(1)
杉山元治郎 7-10-12
助川　浩 10-12-5
鈴木賀一郎 13-12-9
鈴木利三 19-8-14
鈴木直光 5-5-31, 5-6-31, 5-7-31, 13-1-5, 13-2-(1), 13-10-10, 13-11-12
鈴木　仁 9-8-32, 9-10-10, 9-11-33, 11-7-15, 11-8-13
鈴木　靖 5-6-8, 6-11-13
須田山誠 10-1-12
スノーデン,フイリップ 7-3-19
関　寛之 9-3-12
瀬木三雄 19-9-9, 19-12-4
瀬口周道 8-1-19
ゼネバ国際労働局 10-3-19
世良完介 10-8-2
浅 水 生 6-1-28
傍島　亘 4-5-19, 6-7-7

《た》

ダーウキン,レオナルド 5-2-9
大東亜省 20-1-19
颱風楼主人 2-2-26, 2-5-45
ダヴェンポート,シー・ビー（Chas.B,Davenport、C.B,Davenport） 1-12-7, 2-3-6, 2-4-7, 2-12-7
多賀秋之介 5-1-51
高折隆一 9-10-18, 9-11-25
高木俊蔵 19-8-14
高倉　忍 9-6-15
高崎佐太郎 9-1-2
高島平三郎 3-4-5
高島米峰 7-1-13, 10-3-26
高田義一郎 2-6-18, 3-7-9, 3-8-14, 5-2-11, 9-7-36
高野六郎 17-5-18, 20-4-9
高橋虎雄 4-12-20
田口英太郎 20-3-7
田口勝太 12-11-10, 15-5-17, 15-8-6
竹内　清 7-10-14
竹内茂代 12-9-16
竹田邦麿 16-9-15, 16-12-15
武田 求 2-12-7
武政太郎 7-1-10, 7-2-7, 7-3-7
竹村　一 7-9-12, 8-11-36
太宰不二男 8-7-29, 8-8-30
田島つぎ男 3-4-24, 3-6-18
田尻　敢 10-4-7, 16-9-5
多田常太 6-2-7
館　　稔 19-6-13
伊達乙一郎 14-7-5
田中作三 12-10-13
田中政太 5-8-7
田中義麿 2-3-15, 2-6-39, 5-1-5, 9-12-2, 10-3-2, 11-5-5, 11-6-2, 17-6-2, 17-8-3
谷口虎年 20-3-17
谷口政秀 10-12-2
谷口弥三郎 16-1-17
谷村久男 10-5-9
谷本　富 8-10-2, 9-5-2, 9-7-35
ダフォー 15-7-13
玉井　武 9-10-10
田村　肇 8-6-11
田結宗誠 6-6-13, 6-7-13, 6-9-13, 7-6-13, 8-7-2, 9-8-16, 11-1-2
力石雄一郎 6-5-26
知久源次郎 12-7-19
千　葉 10-12-4
チヤールズ,エニツド 13-9-15
茶珍俊夫 17-5-9
津川武一 18-6-2
月　田 5-5-30
土屋栄吉 4-4-33, 4-5-27, 4-6-28
綱木時雨 11-9-27
鶴見三三 9-4-18, 9-10-2
T H 生 4-3-22
滴 々 生 6-2-10
手塚速文 10-4-20
暉峻義等 2-10-24, 4-6-23
土井正徳 17-10-9, 17-11-3, 17-12-4, 18-1-17, 18-2-15

冬夏学人（冬夏生） 1-2-25, 1-4-24, 1-10-13, 1-11-37, 2-6-25, 4-9-14, 4-10-29, 4-11-7, 4-11-8, 4-12-25, 5-3-30, 5-4-25, 5-5-23, 5-7-23, 5-8-10, 5-9-11, 5-10-13, 5-12-27, 6-3-13, 10-5-13, 19-1-11, 19-2-10, 19-3-13, 19-4-14, 19-5-17, 19-6-16, 19-7-18, 20-2-11
藤堂献三 6-10-13
常盤　昌 9-6-48
独 嘯 馬 5-8-21
徳山暁風 4-9-26, 5-10-34, 6-4-38
徳山定吉 3-8-24, 3-11-28, 4-2-22
戸田正三 16-8-6
独居楼処士 12-3-11
土肥慶蔵 3-2-5, 4-6-11
土肥　衛 2-3-33
富安合名会社 4-3-49
豊島逸雄 12-12-(1)
ドリガルスキイ,フオン 6-2-24

《な》

内閣統計局 6-5-24, 14-3-9, 14-5-16, 14-8-17, 15-8-16, 15-12-18
内 務 省 7-5-12
内務省衛生局 6-6-13, 6-7-13, 6-8-13, 6-11-7, 7-5-10, 7-5-11, 7-6-24
内務省社会局 5-8-25, 5-11-15
永井　潜 1-1-2, 1-6-5, 5-1-33, 6-3-19, 7-8-20, 19-2-2
永井　浩 16-5-10
長尾美知 13-11-8
長岡半太郎 16-3-7
中川善之助 11-9-11
中桐確太郎 12-11-16
中島玉吉 1-1-5, 1-2-15, 1-3-25, 11-5-18
永田秀次郎 13-1-(1)
中楯幸吉 3-5-13, 3-6-15, 3-7-19, 3-8-9, 3-9-11, 3-10-11, 3-11-22, 4-1-5, 4-2-5, 4-4-25
中谷重治 12-9-13
永富　均 11-5-12
中西良一 5-6-7
中野　操 8-9-2
中村冬夏 4-4-19
長与又郎 11-2-18
那須　皓 13-7-(1)
並木重郎 8-11-26, 8-12-28, 9-1-31, 9-3-24, 9-4-26
成田勝郎 9-4-9
成田重郎 12-11-20
鳴海　顕 12-9-14
鳴海康仲 3-11-11
新妻伊都子 9-8-25
西晋一郎 12-9-(1)
西　成甫 8-6-改2
西川為雄 9-7-37, 9-12-14
西塚泰順 9-6-27
西野陸夫 19-8-7
西原京一 10-1-29
西○弥○郎 6-5-13
西村真次 9-1-20
西山哲治 3-4-16
廿五歳禁酒法期成同盟（二十五歳禁酒法期成同盟） 7-6-8, 7-7-16
日戸修一 16-7-(1), 18-3-14, 18-5-10, 18-6-6, 19-12-10, 20-1-2
日本医師会 19-4-11, 19-5-11
日本国民禁酒同盟 17-2-17, 17-11-11, 17-11-20
日本黴毒学会 4-4-13
日本民族衛生協会 13-9-18
日本優生学会 1-1-1, 1-1-26, 1-2-1, 1-3-1, 1-4-1, 1-5-1, 1-6-1, 1-9-1, 1-10-1, 3-4-4
忍 滓 老 1-5-31
野上俊夫 1-1-9, 1-2-28, 1-3-27, 1-5-23, 4-1-29, 4-2-19
野崎信夫 7-4-13
野島規矩男 9-7-16
野島泰治 10-2-38
野瀬善三郎 7-12-10, 8-1-3
信　子 1-3-26

《は》

ハーン 5-3-7
破邪坊 5-12-15
長谷川卯三郎 6-4-23, 6-8-10
長谷川如是閑 16-11-(1)
畑山　茂 4-7-32
鳩山春子 1-2-32
早坂長一郎 15-4-(1)
林　佐市 4-6-12
林　信一 10-3-12
林　馥〔木々高太郎〕 7-6-7, 12-11-(1)
林　鉄夫 6-6-25, 6-7-21
林　春雄 9-3-28, 16-6-(1)
林　芳信 18-9-2, 19-9-19
林竜太郎 1-9-19
早田正雄 19-4-17
早野常雄 4-12-21
速水寅一 9-7-2
原田ただ男（原田） 1-3-22, 1-4-20, 1-5-20, 1-6-20, 1-7-20, 1-9-20, 1-11-23, 1-11-28, 1-12-25, 1-12-47, 2-2-46, 2-3-10, 2-7-19, 2-8-39, 3-2-14, 3-3-20, 3-4-24, 3-6-18
原田福象 10-9-7, 10-10-2, 10-11-5
バリエル,マルセル 8-1-4
巴陵宣祐 17-12-14, 18-11-2
バルリン,ルド井ッグ 6-12-21
バレンニンブランケ 5-2-25
P・Y・K 8-1-15
引田一雄 18-1-7
樋口　栄 8-4-2, 8-9-16, 8-10-18, 8-12-32, 9-1-15, 9-2-24, 9-3-17, 9-5-30, 9-6-32, 9-7-21, 9-8-27, 10-11-21, 13-4-20
人見　規 17-7-9
平沢東一 12-6-3
平沢与之介 4-3-49
平島新十郎 6-1-37
平塚　博 17-10-18
フェッチェル 3-10-15
フエルシユエル 7-11-12
フエルド,ジイグ 8-1-4
福沢諭吉 4-3-16
福田令寿 5-6-2
福原義柄 4-5-6
福山匡敏 10-7-2, 10-8-12, 10-9-15, 11-4-13, 11-6-11, 11-7-8, 11-8-4, 11-9-14, 11-10-12, 11-11-(1), 11-12-8, 12-1-9, 12-2-5, 12-3-7, 12-4-7, 12-5-5, 12-6-7, 12-7-7, 12-8-5
不参考生 5-1-21
富士貞吉 18-3-11
富士川游 3-1-7
藤田　潔 6-6-7
藤田秀一 1-3-7, 1-4-9, 1-5-7, 1-7-13, 1-8-5, 1-9-5
藤田徳松 1-9-11
藤　原 7-5-6
藤原九十郎 4-3-9
ブゼー,エイ 4-6-25
二荒芳徳 5-11-7
フツチヤー 9-1-22
舟岡省五 2-5-33, 2-6-11, 2-7-14
ブラウン,M・J 9-6-43
ブランデス 7-11-12
ブランド 17-1-5
フリードレンデル 15-4-4
古市春子 1-7-9, 1-8-13, 1-8-20, 1-9-13, 1-11-46, 2-4-43, 2-5-25
古川竹二 6-9-7, 7-7-11, 7-8-7, 7-9-6, 7-10-6, 8-7-12
古沢一夫 7-12-2, 8-1-23, 8-2-23, 19-8-15
古畑種基 4-3-36, 4-7-31, 6-2-19, 8-5-2, 19-10-4
古谷栄一 4-12-2, 5-2-23, 5-3-19, 5-5-17, 5-6-15, 5-7-17, 5-8-15, 5-9-15, 5-10-15, 17-3-9, 17-4-11,
プロツホ 4-9-11
フンベルト 6-10-13, 6-11-13, 6-12-13, 7-1-13
米国産児制限同盟 7-7-24
ヘーデンカンプ 16-7-11
編　者 1-1-7

編 輯 局 6-3-20
ホ井ーザム 7-6-2
朴 老 生 15-1-14, 15-2-19
堀田繁樹 13-8-16
ポピノー,ポール 7-11-7, 7-11-23, 8-7-27
保良せき子 7-10-10
ホリック 6-9-20, 6-10-22
本庄栄次郎 5-1-9, 13-5-23
凡 次 郎（凡児郎生） 5-2-34, 5-3-32
本多 操 9-8-18, 9-9-25
ボンヅラント,シー・ビー 5-12-9

《ま》

牧野千代蔵 15-4-18
牧野虎次 8-1-14
馬島 僩 8-3-25
増井市郎 19-8-14
松井三雄 8-8-7
松浦有志太郎 2-9-27, 3-6-11, 3-7-15
松岡真太郎 14-1-24, 14-2-20, 14-3-1
松岡洋右 11-7-2
マツクドウエル 4-12-29
マックファデン,バーナー 1-3-22, 1-4-20, 1-5-20, 1-6-20, 1-7-20, 1-9-20, 1-12-47, 2-2-46, 3-4-24, 3-6-18
松野緑生 4-9-22
松原久人 16-2-(1)
松村 瞭 5-12-7
松山竜一 12-7-18
丸井清泰 5-3-13
丸山芳登 9-11-8
満洲国臨時国勢調査事務局 20-1-11
水内幸次郎 9-3-21
水島治夫 9-2-2, 17-2-4, 19-6-2, 19-7-2
溝口完二 10-8-26
三田定則 5-11-9
道広御泉 3-10-29, 6-1-36, 6-2-32, 6-3-32, 6-4-32, 6-5-32, 6-6-32, 6-7-30, 6-8-30, 6-10-30, 6-11-30, 7-1-32, 7-2-30, 7-3-30,
道広尊文 7-6-31
満川亀太郎 11-7-4,
Mitchell,Elmer.D 1-12-19, 2-2-7, 2-3-7, 2-5-15
三野 裕 4-5-11
光藤 介 9-10-32
光本天造 12-1-6, 13-2-11
水戸久子 9-8-26
御供 武 19-8-14
南方熊楠 3-8-26
皆川治広 11-5-15
皆川美彦 15-4-13
南淵芳雄 8-10-37, 9-1-22, 9-2-30, 9-3-26, 10-3-19
見波定治 2-8-11, 18-8-10
南 晶世 8-7-改1, 8-9-34, 8-12-改4, 9-1-44, 9-2-34
南八男子 12-11-4
南亮三郎 15-7-(1)
実生すぎ 9-10-17
三村敏太 9-7-33
三宅驥一 1-7-5, 1-8-9, 1-9-9, 1-10-5, 4-9-19, 5-2-23, 6-6-6, 8-1-30
三宅鉱一 5-12-13, 6-6-27, 6-7-25, 6-8-25, 6-9-25, 6-10-25, 6-12-25, 7-2-25, 7-3-25, 7-5-25, 7-6-25, 9-3-2, 10-4-16, 10-5-29, 10-6-23, 10-8-17
宮路重嗣 8-10-7
深山 杲 19-4-7
宮本英雄 1-8-23, 1-9-15, 1-10-9, 1-11-33
宮脇 富 5-2-20
三輪田元道 10-1-12, 12-10-6
民族衛生研究会 16-1-13
宗内敏男 10-2-9
村田敏生 4-11-22
村田正太 2-4-35, 10-4-2, 10-8-23
目黒八朗 11-6-25, 11-7-25, 11-9-23, 11-10-21, 11-11-15, 11-12-24
モダンガール 4-3-38
泉二新熊 9-5-34
森 茂樹 6-5-9
森井信夫 10-2-22
森川規矩 16-2-14

森崎長次郎 5-10-23
森末克之 12-7-16
森田竹次 16-10-14, 17-1-12
森田政雄 2-3-25, 2-9-44, 2-10-43, 2-11-23, 3-1-17
守田雅夫 3-5-24
森本誉愛 11-3-18
守安直孝 10-5-2, 10-7-13, 10-8-15, 10-10-13, 10-11-16, 10-12-9
諸岡たか子 9-6-20
諸岡　存 4-3-13, 9-3-28, 9-5-9
文 部 省 14-7-10, 16-12-18, 17-7-11, 19-4-8
文部省教学部 15-5-6

《や》

八木高次 12-7-(1), 13-9-9
八木督介 12-12-10
八木日出雄 20-3-2
八木柳桜（柳桜山人） 12-12-14, 13-1-20
安井　哲 18-3-(1), 18-4-(1)
安井　洋 18-1-19, 18-3-17 19-10-16,
安田竜夫（T.JASUDA） 7-12-8, 8-1-36, 8-2-36, 8-3-12, 8-3-35, 8-4-改1, 8-6-8, 10-7-19, 10-8-7
安田守雄 10-10-9
矢内原忠雄 2-4-20
柳沢賛治 12-12-20
山内繁雄 9-4-2, 9-11-2
山崎春三 19-3-11
山崎　佐 7-3-9, 7-4-19, 7-5-19
山田準次郎 1-6-9
山田信一郎 10-6-2
山田やす子 12-10-20
山田わか 1-1-23
山之内昇 10-4-20
山室軍平 4-3-42
山本英輔 18-5-4
山本脩一郎 9-11-16
山本治郎平 1-1-3
山本宣治 1-10-14, 5-1-29
山本北山 5-10-7
山本友香 2-12-24, 4-8-11, 6-5-13, 13-1-12, 18-1-2
由比忠之進 8-5-改1, 8-6-改1, 8-8-改1, 8-10-改1 , 8-12-改1
U S 生 6-10-22
優　子 2-3-46
湯川蜻洋 1-9-23, 2-2-36, 2-4-18
葉水山人 17-7-15
横田秀雄 13-6-(1)
吉栖生一 7-1-23, 7-2-13, 7-3-13, 7-4-13, 7-5-13
吉田寛一 6-6-7, 6-8-13, 6-9-9, 6-10-9, 8-3-2, 8-4-7, 8-5-18
吉田兼好 4-3-13, 4-9-22
吉田章信 4-4-12, 5-5-25, 13-8-20
吉益脩夫 5-8-23, 6-10-19, 6-11-9, 6-12-10
吉松駿一 20-3-15
義本　一 4-3-49
余田忠吾 4-4-18, 8-6-17
米田徳次郎 3-4-29

《ら》

Laughlin,H.H 2-4-6
ランデツ 7-11-23
理 学 生 1-5-16, 1-6-8, 1-7-8, 1-8-8, 1-9-8, 1-10-8
陸軍省新聞班 12-6-11, 15-10-12
リシヤル,P 18-10-9
Littorin,B.E 8-11-改1
柳桜山人→八木柳桜
ルンドボルゲ 20-3-9
霊 憤 生（霊 糞 生） 1-1-8, 1-2-11, 1-3-34, 1-11-30, 1-12-30, 3-5-18, 4-4-32, 4-12-9, 5-5-27, 5-6-25
烈　女 1-10-18
劣 生 坊（劣 生 子） 3-6-9, 3-7-8, 4-3-49, 4-4-24, 4-12-24, 5-2-42, 5-3-41, 5-4-37, 5-5-37, 5-6-37, 5-7-38, 5-8-35, 5-9-35, 5-10-35, 5-11-35, 5-12-35,

6-1-37, 6-2-33, 6-3-33, 6-4-33, 6-5-33, 6-6-33, 6-7-31, 6-8-31, 6-9-29, 6-10-31, 6-11-31, 6-12-31, 7-1-33, 7-2-31, 7-3-31, 7-4-31, 7-5-31, 7-9-31, 11-11-22
レッドフィールド 4-9-16
蠟山政道 13-5-(1)
ロンブロゾオ,チエザレー（ロンブロゾー） 4-3-14, 4-10-29

《わ》

和田三郎 8-12-16
渡瀬庄三郎 9-7-13渡辺英一 12-1-3
渡辺範介 7-8-16
渡辺喜三 1-3-15, 1-4-13, 1-5-13, 1-6-23, 1-7-23, 1-8-15, 2-3-27, 2-5-7, 5-9-29
綿引朝光 1-1-22
亘　繁 6-10-7